

平成23年8月 完成図作成基準（水道工事）改訂箇所

頁 項目	改訂前	改訂後	備考
1頁1.3(1)	当局監督員の作成指示後、 <u>7日以内に</u> 次の図面類を提出	当局監督員の作成指示後、 <u>速やかに</u> 次の図面類を提出	
2頁1.3(1)	該当する工事の例：防護工事、ボルト取替工事、内面修理工事、大型制水弁補修工事、塗装補修工事、埋設物調査工事、消火栓・空気弁のみの取替工事、 <u>等</u>	該当する工事の例：防護工事、ボルト取替工事、内面修理工事、大型制水弁補修工事、塗装補修工事、埋設物調査工事、消火栓・空気弁のみの取替工事、 <u>耐震補強工事、等</u>	
10頁2.1(6)	新設の仕切弁、バタフライ弁、消火栓、管末、片落管（小口径側）、小口径配水管の弁付割T字管、仮設配水管用残し弁付割丁字管、分水栓、止水栓及び既設管との連絡箇所は、次の基準に従ってオフセット図を記入する。	新設の仕切弁、バタフライ弁、消火栓、管末、片落管（小口径側）、小口径配水管の弁付割T字管、 <u>再用する小口径配水管の弁付割T字管</u> 、仮設配水管用残し弁付割丁字管、分水栓、止水栓及び既設管との連絡箇所は、次の基準に従ってオフセット図を記入する。 <u>また、再用する小口径配水管の弁付割T字管箇所に「（弁割再用）」と明記する。</u>	追記
25頁2.4(3) ()記載例	12345(20)__(4.9+0.5)	12345(20)(4.9+0.5)	削除
26頁2.4(3) ()イ) 道路取付管2	<u>やむを得ず、道路取付管を0.3m以上振った場合、布設したとおりに管を図示する。</u>	<u>分岐位置からメータまでの水平距離が0.3m以上ある場合、道路取付管を道路部にて直角に曲げて描画し、その水平距離についても記載する。</u>	

頁 項目	改訂前	改訂後	備考																						
26頁2.4(3) ()ウ) メータシンボル	水栓番号が不明の場合は、 <u> </u> を表示する。メータ筐が 不明の場合も <u> </u> を表示す る。	水栓番号が不明又はメー タ筐が存在しない場合 は、 <u> </u> を表示する。																							
26頁2.4(3) ()サ) 逆流防止	また、説明注記として【 <u> </u> 又は <u> </u> 逆流防止機能付止 水栓等へ取替】を平面図に 記載する。 「逆流防止機能付止水 栓」： <u>副栓付逆流防止器</u> ： <u> </u>	また、説明注記として【 逆流防止機能付止水栓等 へ取替】を平面図に記載 する。 「逆流防止機能付止水 栓」：	削除																						
27頁2.4(3)		()施工前に分岐され ていた道路取付管を分岐 しなかった場合は、平面 図が記載されている頁の 余白に、該当する道路取 付管に付随する全ての水 栓番号を記載する。	追記																						
33頁2.7(5) 道路取付 管情報ファイルのコー ド表	(管種) <table border="1"> <tr> <td>SP</td> <td>鋼管</td> </tr> <tr> <td>FC</td> <td><u>高級</u> 鋳鉄管</td> </tr> </table> (逆流防止) <table border="1"> <tr> <td>コ ー ド</td> <td>逆流防止装置区 分</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td><u>その他又はなし</u></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>逆流防止機能付 止水栓</td> </tr> <tr> <td><u>2</u></td> <td><u>副栓付逆流防止 器</u></td> </tr> </table>	SP	鋼管	FC	<u>高級</u> 鋳鉄管	コ ー ド	逆流防止装置区 分	0	<u>その他又はなし</u>	1	逆流防止機能付 止水栓	<u>2</u>	<u>副栓付逆流防止 器</u>	(管種) <table border="1"> <tr> <td>SP</td> <td>鋼管(<u>亜鉄管</u>)</td> </tr> <tr> <td>FC</td> <td>鋳鉄管</td> </tr> </table> (逆流防止) <table border="1"> <tr> <td>コ ー ド</td> <td>逆流防止装置 区分</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>逆流防止機能 付止水栓 <u>設置</u></td> </tr> </table>	SP	鋼管(<u>亜鉄管</u>)	FC	鋳鉄管	コ ー ド	逆流防止装置 区分	0	なし	1	逆流防止機能 付止水栓 <u>設置</u>	副栓付逆流防止器は 削除
SP	鋼管																								
FC	<u>高級</u> 鋳鉄管																								
コ ー ド	逆流防止装置区 分																								
0	<u>その他又はなし</u>																								
1	逆流防止機能付 止水栓																								
<u>2</u>	<u>副栓付逆流防止 器</u>																								
SP	鋼管(<u>亜鉄管</u>)																								
FC	鋳鉄管																								
コ ー ド	逆流防止装置 区分																								
0	なし																								
1	逆流防止機能 付止水栓 <u>設置</u>																								

頁 項目	改訂前	改訂後	備考				
38頁4.1	完成図CADファイルは、当局が出力する図面情報管理システムの背景図に合致するよう作図する。 <u>背景図は、当局技術システム課台帳閲覧室（福江ビル3階）にて請負人に貸与する。</u>	完成図CADファイルは、当局が出力する図面情報管理システムの背景図に合致するよう作図する。 <u>背景図は、DXF形式の背景図ファイルとして当局施工担当公所にて監督員から請負人に貸与する。</u>					
38頁4.1	土地区画整理等、 <u>背景ファイル</u> に道路地形が存在しない場合は、請負人により正確な地形を作図すること。	土地区画整理等、 <u>背景図ファイル</u> に道路地形が存在しない場合は、請負人により正確な地形を作図すること。					
40頁5 完成図整理科目コード表	48・49は、上下水道一括発注工事で、水道工事の設計番号が存在しない場合に利用するコードのため、欠番とする。	48・49は、上下水道一括発注工事で、水道工事もしくは <u>工業用水道</u> の設計番号が存在しない場合に利用するコードのため、欠番とする。	追記				
53頁 完成図記載例1/2		<p>施工前に分岐されていた道路取付管を分岐しなかった場合は、平面図が記載されている頁の余白に、該当する道路取付管に付随する全ての水栓番号を記載する。</p> <table border="1" data-bbox="858 1659 1059 1832"> <tr> <td>分岐を行わなかった水栓番号一覧</td> </tr> <tr> <td>55289</td> </tr> <tr> <td>60423(40)</td> </tr> <tr> <td>80227(20)</td> </tr> </table>	分岐を行わなかった水栓番号一覧	55289	60423(40)	80227(20)	追記
分岐を行わなかった水栓番号一覧							
55289							
60423(40)							
80227(20)							

完成図作成基準 (水道工事)

平成 23 年 8 月 1 日

名古屋市上下水道局

目 次

1 . 総 則	1
1 . 1 適 用.....	1
1 . 2 作成概要	1
1 . 3 提出図面の種類と数量	1
1 . 4 図面の規格と品質.....	4
1 . 5 文字及び線	5
1 . 6 寸 法.....	5
1 . 7 作図一般	5
1 . 8 標高基準面	5
2 . 細 則	6
2 . 1 布設管図	6
2 . 2 廃止管（撤去・残置）図.....	15
2 . 3 水管橋管理図の作成	16
2 . 4 その他作図上の注意	24
2 . 5 各種標示欄	28
2 . 6 バルブを新たに設置した場合	30
2 . 7 電子媒体の作成	31
2 . 8 縮小版及び製本版の作成.....	34
2 . 9 そ の 他.....	34
3 . 防食設備管理図作成細則	35
3 . 1 作図内容	35
3 . 2 作成図面の種類	35
3 . 3 標 題 欄.....	36
3 . 4 記 載 例.....	37
3 . 5 そ の 他.....	37
4 . 完成図CADファイル作成細則	38
4 . 1 基本事項	38
4 . 2 作図内容	38
4 . 3 CADデータ仕様	39
5 . 完成図整理科目コード表	40
6 . 完成図CADファイル レイヤ構成表.....	41
7 . 配管記号	44
8 . 完成図記載例・完成図CADファイル作図例等.....	53

1 . 総 則

1 . 1 適 用

- (1) 本基準は、導水管、送水管、配水管、小口径配水管、道路取付管並びに浄水場等の構造物の新設、増改造又は廃止（撤去、残置）工事で請負人が土木工事共通仕様書に基づき、上下水道局に提出する完成図面類の作成基準を定めるものである。
- (2) 本基準の中で「給水装置工事道路分施工事」仕様で表示した事項の適用並びに適用にあたっての詳細については当局監督員の指示を受けるものとする。
- (3) この仕様書に定めのない項目については、「製図総則及び製図(JIS Z 8310 ~ 8318)」、土木学会制定「土木製図基準」等、製図関係の規格に準拠するものとする。

1 . 2 作成概要

- (1) 完成図面類はCAD(Computer Aided Design)により作成する。
- (2) 送水管、配水管、小口径配水管、道路取付管の工事を施工した場合は、完成図CADファイル作成細則に基づき、完成図CADファイルを作成し提出するものとする。請負人は、完成図CADファイルの作成にあたり、名古屋市上下水道局配管工事完成図システム（以下、「工事完成図システム」という。）を使用することができる。
- (3) 工事完成図システムは別に定める規定に基づき使用することができる。工事完成図システムの使用に必要な機器及びソフトウェアは請負人の負担で用意する。
- (4) CADによる完成図面類の作成について、本基準によりがたい場合は、当局技術システム課の承認を得て、完成図面類を作成することができる。

1 . 3 提出図面の種類と数量

- (1) 請負人は、工事完了後直ちに完成図（鉛筆、またはCAD）を作成し、工事完了届と共に提出するものとする。
なお、完成検査に合格し、当局監督員の作成指示後、速やかに次の図面類を提出するものとする。

	種 類	規 格	摘 要
	トレース前完成図	A 1 ~ A 4	鉛筆書きによる完成図で完成検査を受けた場合は、CADにより作図したものととの照合のために提出を要する。
	完 成 図 原 図	A 1 ~ A 4	CADにより作成し、プロッタ等により出図したもの。
	完成図ラスタファイル	A 1 ~ A 4 TIFF形式	電子媒体に記録。 完成図CADファイルは、送水管、配水管、小口径配水管、道路取付管の工事の場合に作成する。 道路取付管情報ファイルは、道路取付管を施工した場合に作成する。
	完成図C A Dファイル	DXF形式	
	道路取付管情報ファイル	CSV形式	
	完 成 図 縮 小 版	A 4	レーザープリンタにより上質紙に出力する。
	完 成 図 製 本 版	A 1 ~ A 4	呼び径500mm以上の配水管布設および構造物築造の場合に作成（レーザープリンタにより上質紙に出力）。
	水管橋管理図原図	A 2	完成図から河川区域内の水管橋および橋梁添架関連工事に関する図面を抽出して作成する。小口径配水管を除くすべての管路を対象とする。
	水管橋管理図ラスタファイル	A 2	電子媒体に記録。
	水管橋管理図縮小版	A 4	レーザープリンタにより上質紙に出力する。
	防食設備管理図原図	A 1 ~ A 4	電子媒体に記録。
	防食設備管理図ラスタファイル	A 1 ~ A 4	
	防食設備管理図縮小版	A 4	

工業用水（科目90・91・92）の工事については管路部の仕様に基づき図面の作成を行うものとする。

送水管、配水管、小口径配水管の工事で管路の布設・撤去・残置延長が0の工事は、完成図CADファイルの作成を省略することができる。

該当する工事の例：防護工事、ボルト取替工事、内面修理工事、大型制水弁補修工事、塗装補修工事、埋設物調査工事、消火栓・空気弁のみの取替工事、耐震補強工事、等

疑義があるものについては、当局技術システム課に問い合わせること。

(2) 提出部数

	種 類	規 格	営業部	建設部	施設部	管路部
	トレース前完成図	A 1 ~ A 4	1		1	1
	完 成 図 原 図	A 1 ~ A 4	1	1	1	1
	完成図ラスタファイル	A 1 ~ A 4 TIFF形式	1	1	1	1
	完成図CADファイル	DXF形式				
	道路取付管情報ファイル	CSV形式				
	完 成 図 縮 小 版	A 4	4	5	5	7
	完 成 図 製 本 版	A 1 ~ A 4		1 (A 1) 2 (A 4)	1 (A 1) 2 (A 4)	
	水管橋管理図原図	A 2		1	1	1
	水 管 橋 管 理 図 ラスタファイル	A 2		1	1	1
	水管橋管理図縮小版	A 4		2	2	2
	防食設備管理図原図	A 1 ~ A 4		1	1	1
	防 食 設 備 管 理 図 ラスタファイル	A 1 ~ A 4		1	1	1
	防 食 設 備 管 理 図 縮 小 版	A 4		2	2	2

当局監督員は、下記に示す図面を図面情報管理センター（中村ビル）に送付する。

～ 、 、 、 、 （ただし、 の図面情報管理センターへの送付部数は4部）

1.4 図面の規格と品質

(1) 規格制限

図面はすべてA版規格とし、仕上げ寸法はJIS - P0138 (紙・加工・寸法) のA1からA4までの範囲とする。

図面の規格

規 格	A 1	A 2	A 3	A 4
寸 法 (mm)	594 × 841	420 × 594	297 × 420	210 × 297

(2) 規格選択基準

図面は、作図内容と量によりむやみに余白を生じたり、圧縮せず、作図された図面はすべてA4に縮小したときに、判読できることが必要条件であるから、次の縮率を十分考慮して作図するものとする。

なお、作図に用いる線・文字・記号の基準は、1.5文字及び線による。

A4を最小基準とした縮率

図面規格	A 3	A 2	A 1
面 積 比	1 / 2	1 / 4	1 / 8
縮 率	1 / 1.4	1 / 2	1 / 2.8

(3) 輪 郭

図面には、必ず次に示すとおり設けるものとする。

輪郭寸法

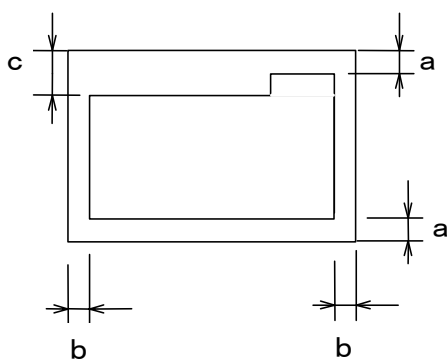


図 面 規 格	A 1	A 2	A 3	A 4	
輪 郭 寸 法 (mm)	a	28	20	14	10
	b	35	25	18	13
	c	50	36	25	18

(4) 品 質

完成図面の原図は、CADにより作成し、プロッタ等により出力する。

電子媒体は光ディスク (CD-R) とする。

A4縮小版及び製本版は、CADファイルからの出力とし、レーザープリンタにより上質紙に出力する。

上質紙の厚さは55kg (64.0 g/m²) を標準とする。

1.5 文字及び線

(1) 文字

文字（数字を含む。）は、明瞭に書き、横書を原則とする。

漢字は楷書で、仮名は平仮名を用いるのを原則とするが、品名・名称が外来語の場合は片仮名を用いる。

フォントサイズは、A4に縮小したときに判別できるサイズを用いるものとし、最小サイズは3.5mmを標準とする。

(2) 線

作図に使用する線の種類は、実線・破線・一点鎖線・二点鎖線の4種類とする。

線の太さは、細線、太線の区別が明確につく太さとし、細線0.13mm、太線0.50mmを標準とする。

1.6 寸法

(1) 寸法は、形状及び位置の完成寸法を示すものとする。

(2) 個々の部分の寸法の合計又は全体の寸法は、順次、個々の部分の寸法の外側に記入する。

(3) 寸法の単位は、別に定める場合を除きmmを原則とし、単位記号をつけない。

1.7 作図一般

(1) 作図は、できるだけ簡素化した製図技法を用い、文字・記号及び線がA4に縮小した場合に明瞭、且つ十分識別できるものとする。

(2) 断面には、うす塗りを施さず、ハンチングとする。

(3) 図面の出力は、モノクロとする。

(4) 文字・記号及び線は濃度を一定とし、均一なラインでシャープな記入をしなければならない。

1.8 標高基準面

(1) 標高基準は、当局の基本水準面（W.N.P.）を原則とする。

(2) 当局の基本水準面（W.N.P.）は、名古屋港基準面（N.P.）より10m低い。

$$W.N.P. = N.P. + 10m$$

$$N.P. = T.P. + 1.412m \quad (T.P. \text{は東京湾平均海面})$$

2 . 細 則

完成図は、工事内容に応じて次に掲げる図面で構成する。

2 . 1 布設管図

(1) 位置図

位置図は、図面の左上端に配置するのを原則とする。

位置図には、原則として縮尺 1 / 2,500の地形図を利用する。

位置図は、施工箇所の所在を示すもので、町名及び目標となる著名な建物等の名称を記入する。

位置図は、施工管路の位置を太い実線で記入し、且つ、当該箇所を円で囲み、「工事箇所」と記入する。

(2) 平面図

平面図は、当局が出力する図面情報管理システム(1 / 500配管図)の背景図に合致するよう作図する。

地形のほか、道路・河川・用水・鉄道等の名称をあわせて記入する。

認定道路以外(河川・用水・鉄道・局用地・私道等)に埋設する場合は、その境界線を記入する。

河川には、流水方向、河川境界等、必要事項をあわせて記入する。

新設管及び附属具類は、形状寸法(管種・継手・内面塗覆装・外面被覆装・呼び径)、延長、布設位置(出巾・深度)を記入する。

新設管と既設管の連絡工事は、既設管の形状寸法(管種・継手・内面塗覆装・外面被覆装・呼び径)、布設位置(出巾・深度)を記入する。

既設管の修理、切廻し工事、栓・弁類設置、既設管に小口径配水管の弁付割T字管を設置した場合は、その工事箇所を付近の栓・弁類からの距離を測定し記入する。

小口径配水管及び仮設配水管は、管種・継手・内面塗覆装・外面被覆装・呼び径・延長の順で記入するとともに、布設位置をあわせて記入する。

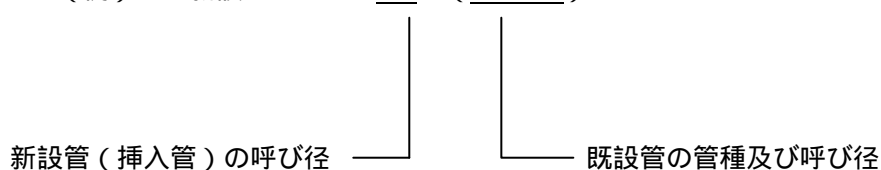
ただし、仮設配水管において、同一工事で布設・撤去を行うものは、平面図への記入を省略することができる。その際、完成図表題の施工量表への仮設配水管施工延長は、従来どおり記載するものとする。

小口径配水管には、止水栓・管種変更点等の設置位置の単距離延長(0.1m単位)も記入する。

道路取付管の分岐間隔(0.1m単位)を記入する。

パイプインパイプ工法にて新設した場合の表示は、形状寸法の次に既設管の管種及び呼び径を()内に記入する。

(例) 新設 D T P L 700 (F C 900) - 54.0



道路幅員等が狭く記載必要事項が多岐にわたるときは、図面の余白部分に拡大して記入する。

(3) 管路図

管路図は、7. 配管記号の管路図記号を用いるものとする。

布設延長が長く一連作図が困難な場合は、適宜作図を分割する。

新設管は太く、既設管は細く表わし、既設管に形状寸法を記入する。

直管が連続した場合は、原則として中間の継手記号は省略し、直管の本数のみを記入する。

新設管及び廃止管の延長は、m単位で小数第1位まで表示する。この場合、新設管は小数第2位を切上げ、廃止管は小数第2位を切捨てて表示する。

管及び栓・弁類は必要に応じ、取出線を引いて次のように表示する。

() 直管・切管を使用した場合

D K L 直管 100×4,000 ~4本.....4.0 - 4

D K L 甲切管 1,500×1,500 ~1本.....1.5

() 十字管・T字管及び片落管を使用した場合

D K E F 付T字管 200×75 ~1個..... 200×75

D K L 受挿片落管 1,100×900 ~1個.....1,100×900

() 曲管を使用した場合

D K E 曲管 400×45° ~1個.....45°

但し、曲管を垂直方向に使用した場合は、曲管の度数に⊕・⊙の記号を付記する。又、曲管をひねり使用した場合は、⊕・⊙の記号にひねりと表示する。

D K E 曲管 100×45° ~1個.....45° ⊕、又は45° ⊙

D K E 曲管 100×45° ~1個.....45° ⊕ひねり

45° ⊙ひねり

() 乙字管を使用した場合

D N S E 乙字管 100(偏心量300) ~1個.....乙字(300)

但し、乙字管を垂直方向に使用した場合は、さし口直近における弧の外側を基準にして上下判断し、乙字管の偏心量に⊕・⊙の記号を付記する。その際、必ず断面図を作図するものとする。又、乙字管をひねり使用した場合は、⊕・⊙の記号にひねりと表示する。

D N S E 乙字管 100(偏心量300) ~1個.....乙字(300)⊕、又は乙字(300)⊙

D N S E 乙字管 100(偏心量300) ~1個.....乙字(300)⊕ひねり

乙字(300)⊙ひねり

() バルブを設置した場合

100mm仕切弁 100V

600mm仕切弁(横型) 600V(横)

600mm仕切弁(立型) 600V(立)

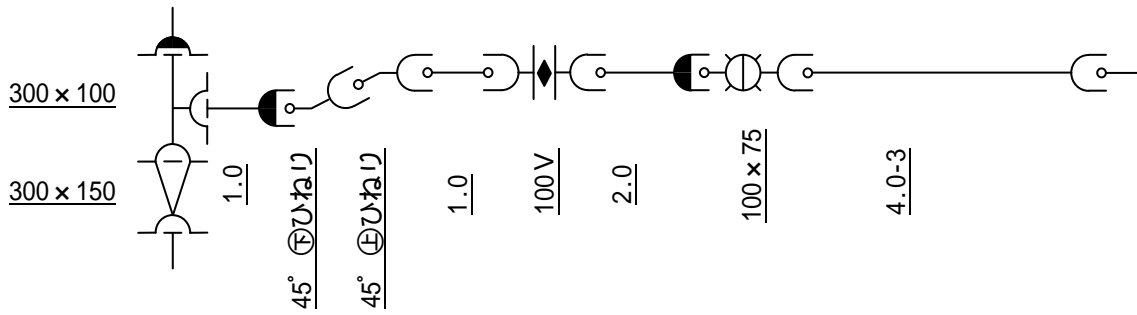


図 - 1 材料表示例

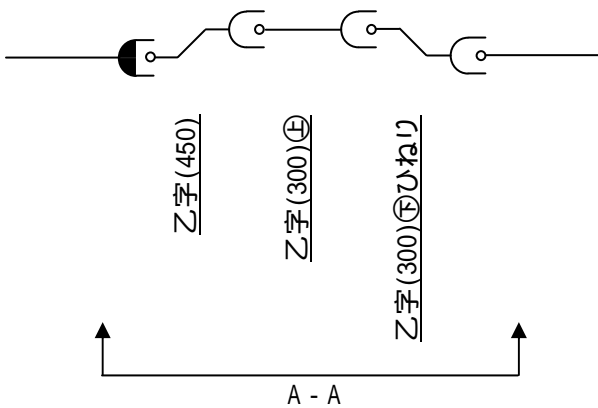


図 - 2 乙字管使用時の管路図記載例

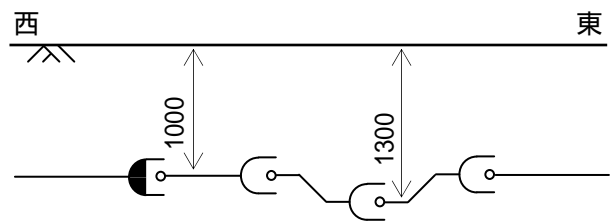
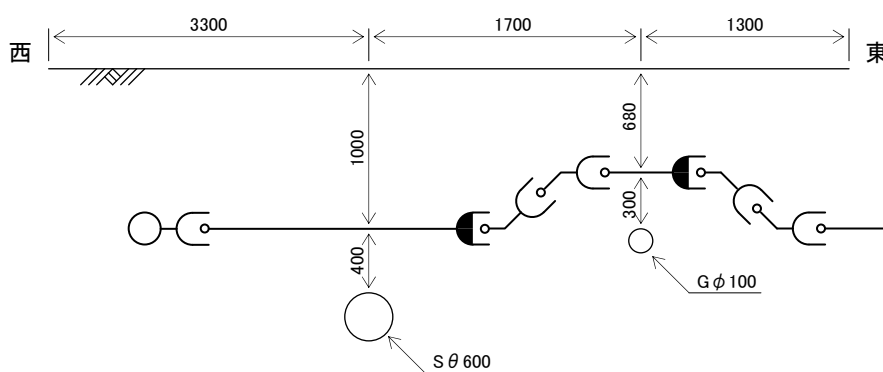


図 - 3 A - A断面図記載例

既設埋設物と交差して布設したときは、断面図を作成して既設埋設物等の深度及び布設管との間隔の寸法を記入するとともに方位も合わせて、次のように記入する。

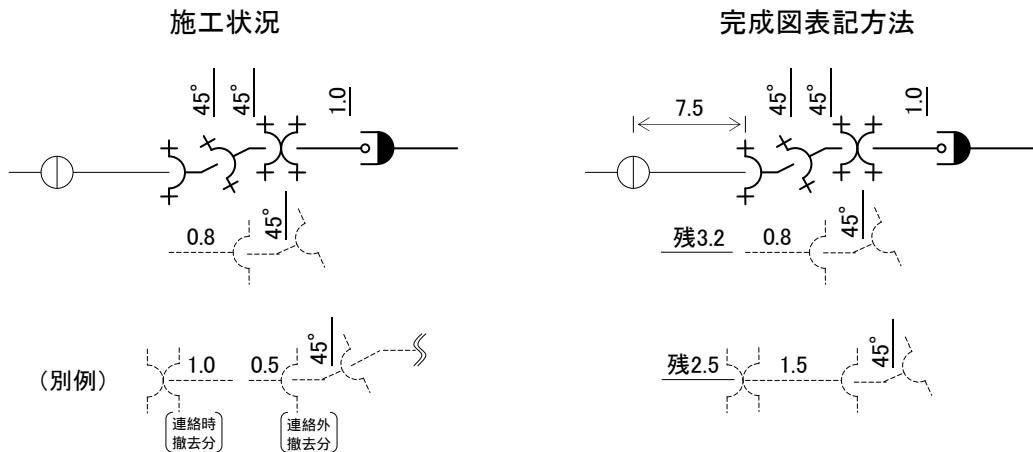
横断箇所詳細図記入例



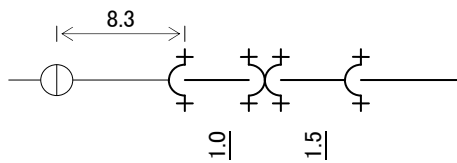
既設管との連絡箇所は、以下のように表示する。

- () 連絡箇所において既設管を撤去した場合は、撤去した管の詳細状況（継手、異形管種、延長等）を記入する。原則、撤去管は少なくとも次の継手と次の管までを記入し、既設管側の残延長が判断できるようにする。既設管側の残延長が判明している場合は、既設管の状況・延長も記入する。なお、連絡箇所とは連絡ピットだけでなく既設管との接続・栓工事箇所すべてをいう。
- ただし、下記()の中で制水弁またはそれに連続する短管1・2号と連絡した場合は、連絡した既設管名称を記載することにより撤去管詳細の記入は省略することができる。

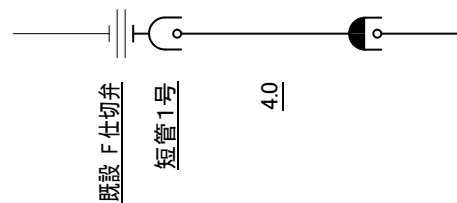
- () 連絡箇所において、既設管の受口を使った場合は、既設管の受口のみを太く表す。
- () 既設の直管・甲切管・乙切管（連絡時切断の甲・乙切管を含む）と連絡した場合は、直近の既設側栓弁類からの距離を記入する。適当な既設栓弁類が無い場合は、新設側の栓弁類からの距離を記入する。
- () 既設の異形管・バルブと連絡した場合は、その名称を記入する。
- () () の記入例



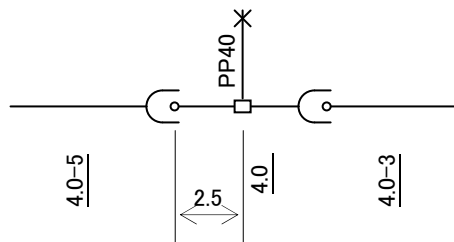
() () の記入例



() の記入例

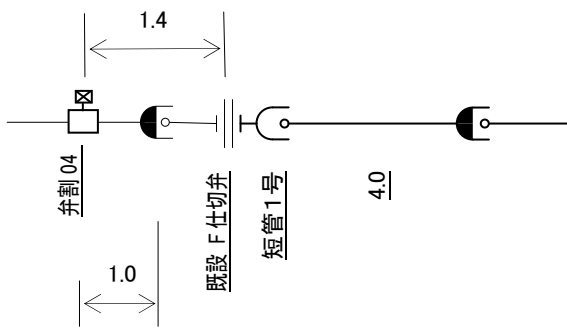


新設配水管から小口径配水管を分岐した箇所は、その位置（分岐した管の長さとその片側挿口からの距離）を管路図上へ記入する。

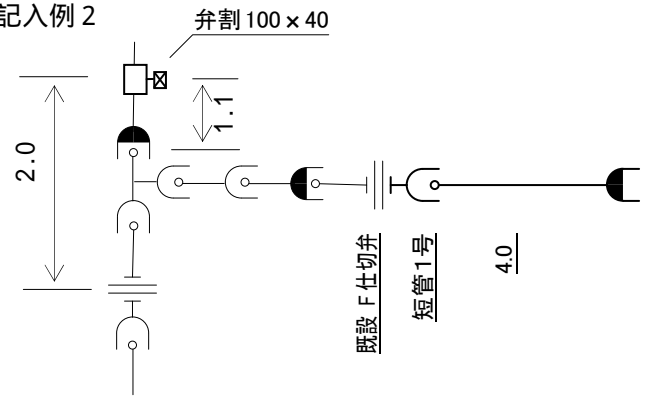


既設管に弁付割T字管を設置した場合（仮設配水管用残し弁割等）、その位置を直近既設栓弁類からの距離として記載する。詳細な設置位置（付近の継手からの距離等）が判明している場合は、設置位置周辺の既設管路図を記載して設置位置を明示する。

記入例 1



記入例 2



(4) 断面図

縦断面図

- (i) 呼び径500mm以上の配水管布設工事の場合に作成する。
- () 布設管路箇所の地形断面図に、管及び構造物等の縦断状態を記載する。
- () 必要記載事項は、測点・追加距離・区間距離・地盤高・鉄管施工高（施工地盤高）・掘削深・管こう配・水位・河床高・地下埋設物の状態等のほか、特に分岐管（十字管・T字管）、栓・弁類の設置箇所とする。
- () 地盤高の表示は、W・N・Pとする。

横断面図

- () 道路・河川・橋梁等の横断面図に布設管の占用位置・構造物の形状寸法と位置等を表示する。
- () 既設埋設物等と交差して布設したときは、断面図を作成して既設埋設物等の深度及び布設管との間隔寸法を記入するとともに方位もあわせて記入する。

(5) 詳細図

布設管・構造物・防護・加工・取付・占用位置・その他の詳細部については、必要に応じて次に掲げる詳細図を作成する。

構造図

構造物（弁室・排水設備等）の形態（形状寸法・配筋等）を表示する。

側面図

伏越し・添架・さや管推進・軌道下横断・水管橋等における管及び構造物の位置、形状寸法を表示する。

防護図

管の布設等の場合で特殊な防護を行った場合は、防護方法を表示する。

設備図

機械・電気等の設備構造、据付方法、性能等について表示する。

(6) 新設栓弁類等のオフセット図の表示

新設の仕切弁、バタフライ弁、消火栓、管末、片落管（小口径側）、小口径配水管の弁付割T字管、再用する小口径配水管の弁付割T字管、仮設配水管用残し弁付割T字管、分水栓、止水栓及び既設管との連絡箇所は、次の基準に従ってオフセット図を記入する。また、再用する小口径配水管の弁付割T字管箇所に「（弁割再用）」と明記する。

基準点等

- () 基準点は3点とし、原則として、直近公私境界、直近隅切及び他の隅切とする。
- () 測点(仕切弁・消火栓等の鉄ふたの中心)から基準点(直近公私境界・他の隅切)までの距離又は直近公私境界から直近隅切までの距離を測定し、数値は、m単位で小数点以下1位まで記入する。
- () 測点が交差点内にある場合は、基準点は3箇所の隅切とし、測点と基準点の距離を測定する。

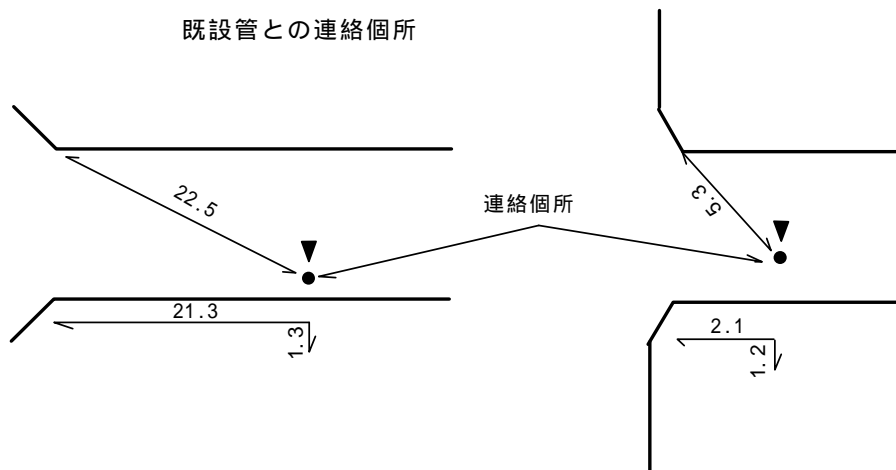
表示の大きさ

縮尺を問わないが、道路巾員、交差点内の仕切弁・消火栓類に、ある程度対応させる。

スピンドルの深さ

道路面からスピンドルまでの距離を測定した数値にh = を付け、m単位で小数第2位まで記入する。

オフセット図記載例 1



(7) 大口径管のオフセット図

大口径（呼び径500耗以上）の曲管使用（ひねり）箇所は、次の基準に従って、オフセット図、断面投影図を作成する。

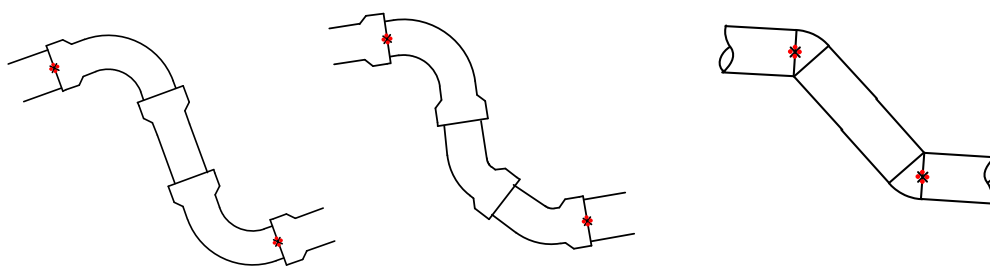
基準点等

- () 基準点は、隅切、直近の公私境界、仕切弁・バタフライ弁・空気弁鉄ふた等の中心とし3点を原則とするが、現場の状況により後の維持管理に支障のないようにする。（例：隅切など基準点となる箇所が取りにくい場合・・・他企業構造物等を基準点に含め4点以上のオフセットを取る。）
- () 測点は下図（例1、2）に示すように受け口端面の頂点とする。3本ベン（ひねり）以上（例2）の場合は起点・終点のオフセットをとる。また、鋼管（例3）のひねり箇所の測点も例1、2と同じ考え方とする。
- () 測定数値はm単位で小数点以下1位まで記入する。

例 1

例 2

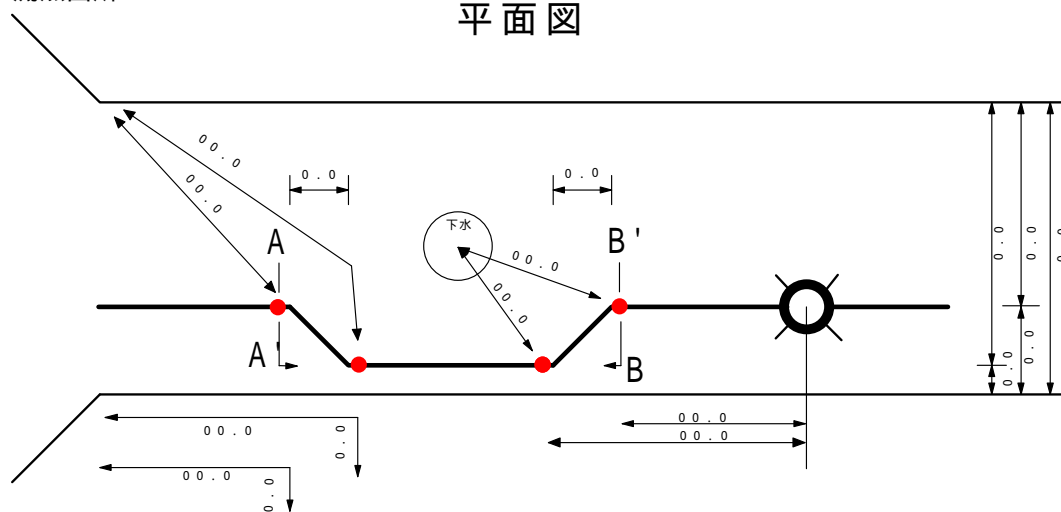
例 3



オフセット図記載例

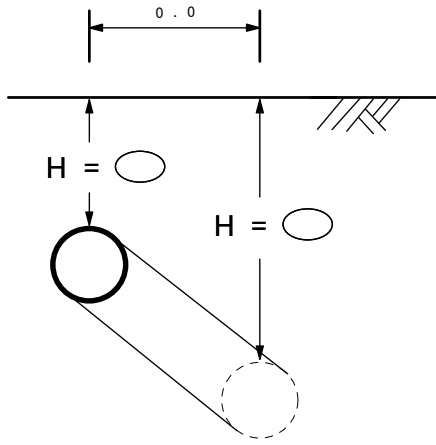
: 測点箇所

平面図

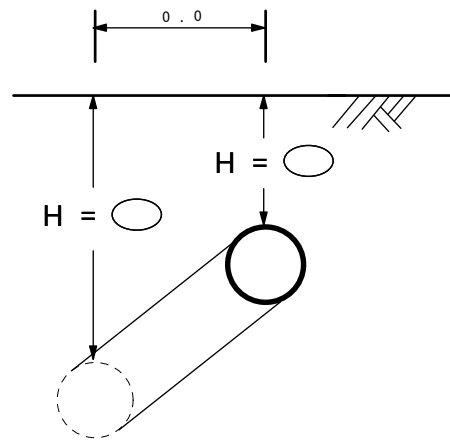


断面投影図記載例

A-A' 断面投影図



B-B' 断面投影図



2.2 廃止管（撤去・残置）図

送水管、配水管、小口径配水管及び附属具類等を廃止した場合は、次の図面を作成する。

(1) 位置図

2.1 布設管図の(1)による。ただし、布設管図の位置図と同一の場合は省略できる。

(2) 平面図

平面図は、原則として1/500配管図の地形を利用し、道路・河川・用水・鉄道等の名称をあわせて記入する。

管及び附属具類を撤去した場合は、その形状寸法（管種・継手・呼び径・塗覆装）、延長を記入する。

既存の残置管を撤去した場合は、形状寸法、延長に加え、「（残置管）」と記入する。

管及び附属具類、土留材等を残置した場合は、その形状寸法、延長、残置位置を記入する。

撤去管、残置管の完成図整理番号は、当局監督員の指示によって記入する。

布設替工事の場合で、廃止した管路を一時残置し、後日撤去予定の場合は、その旨を記入する。

残置する場合は、完成図に残置理由を明記する。

例) 他企業埋設物等に影響・支障（具体的な企業名・埋設物等を明記すること）

道路構造物等に影響・支障（具体的な構造物等を明記すること）

道路交通に影響

私有地内の構造物に影響

(3) 残置管閉塞箇所及び残置物件のオフセット図

残置管の閉塞箇所及び残置土留材等は、次の基準に従ってオフセット図を記入する。

基準点は、3点とし、原則として隅切とする。

縮尺を問わないが、

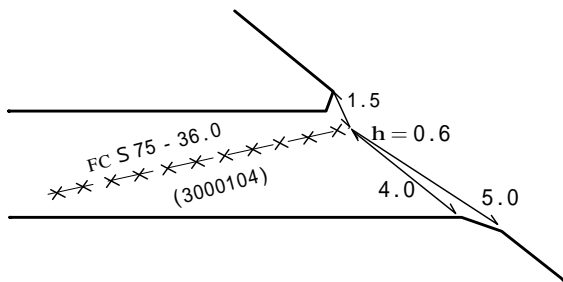
道路巾員、測定対象物

にある程度対応させる。

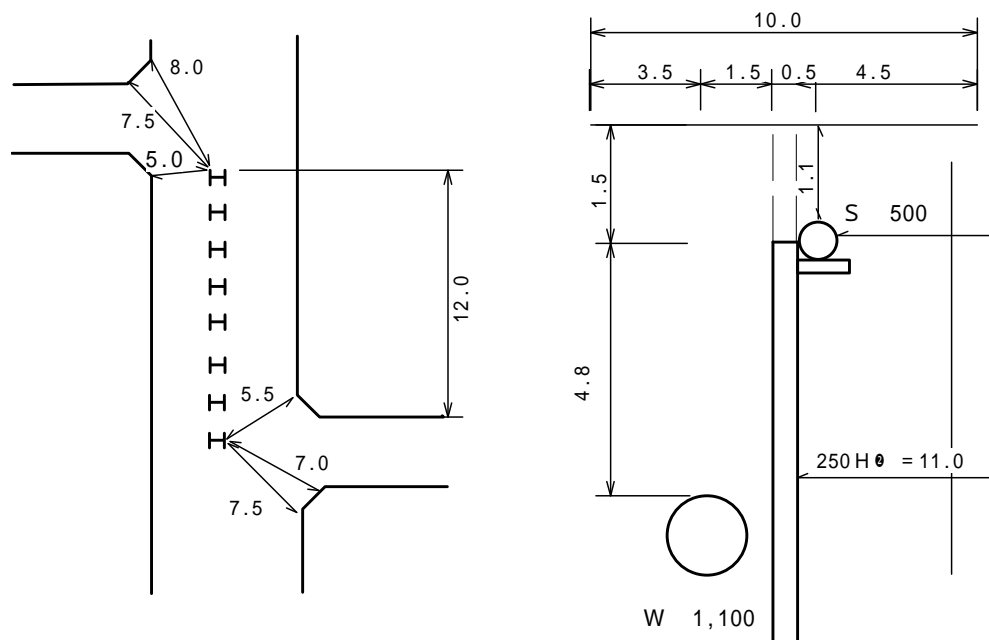
残置物件については、

断面をつけて表示する。

残置管閉塞箇所オフセット図記載



残置物件オフセット図及び断面図記載例



2.3 水管橋管理図の作成

小口径配水管を除くすべての水管橋及び橋梁添架関連工事の場合は、本項で定める基準に従い水管橋管理図を作成する。

(1) 作図内容

工事完成図で作成された、位置図・平面図・縦断面図・横断面図・詳細図等の各図面の河川区域内（道路・鉄道においては、管理境界線）の水管橋に関する全ての図面を抽出して水管橋管理図面のA2規格フォームのもとに、水管橋管理図を作成する。

水管橋管理図は第1枚目に位置図（経歴表等を含む）とし、以下平面図、縦断面図・横断面図・詳細図の順とする。

但し、フォーム規格は、「図-1」による。

(2) 作成図面の種類

位置図

ア．工事完成図で作成した位置図を用いる。

イ．位置図には、河川名（または、鉄道名等）・流向等を記載する。

平面図

ア．工事完成図で作成した平面図を用いる。

イ．平面図には、河川名（または、鉄道名等）・流向等を記載する。

ウ．平面図には、河川境界線（道路・鉄道においては、管理境界線）・流向等・保全区域を記載する。

なお、局用地が存在する場合には、その区域を明示する。

縦断面図

ア．工事完成図で作成した縦断面図を用いる。

イ．縦断面図には、河川定規・HWL・地盤高を記載する。なお、その表示が、TP.NP.WNPのどれであるかを明示する。

ウ．縦断面には、河川境界線（道路・鉄道においては、管理境界線）・保全区域を記載する。

横断面図・詳細図

ア．工事完成図で作成した横断面図・詳細図を用いる。

経歴表等

経歴表等は、位置図の記載されている図面に記載する。

経歴表等の規格は、「図 - 2」による。

ア．水管橋塗覆装記録表（D）

a．当該項目に記入する。

b．記入項目の色番号（色）の色については、下記の12色から選ぶ。

黒色・紫色・青色・水色・緑色・黄緑色

白色・黄色・だいたい色・灰色・赤色・茶色

イ．水管橋補修工事記録表（E）

a．工事完成時には、記入しない。

ウ．河川等占用許可更新記録表（F）

a．占用許可書の情報を、当該項目に記入する。

エ．塗装面積表（G）

a．工事完成時の情報を、当該項目に記入する。

オ．完成時データ表（C）

a．工事完成時の情報を、当該項目に記入する。

(3) 整理番号

水管橋管理図整理番号は、配水課管理係で指示する。

(4) 提出図面の種類と数量

・提出図面の種類と数量については、P - 1の1.3(1)(2)を参照

(5) 注 意

・当該工事が、橋梁部への添架工事、又は水管橋のみの工事である場合は、今後の配水管理設予定線（破線）を分かる限り、平面図、縦断面図の河川区域内に記載する。

・当該工事が、既設水管橋と既設配水管との間に、配水管を布設する工事である場合は、完成図から河川区域内に関する図面を抽出して、水管橋管理図を作成する。ただし、経歴表等（前述の(2) ア～オ）は除く。

・水管橋関連工事のうち、塗装工事又は補修工事については、水管橋管理図の作成は不要である。

・区またがりの場合は左岸側の区を採用する。

(6) その他

水管橋管理図の作成について、疑義があるときは、配水課管理係へ問い合わせること。

图 - 1 水管橋管理図図葉規格 (单位 mm)

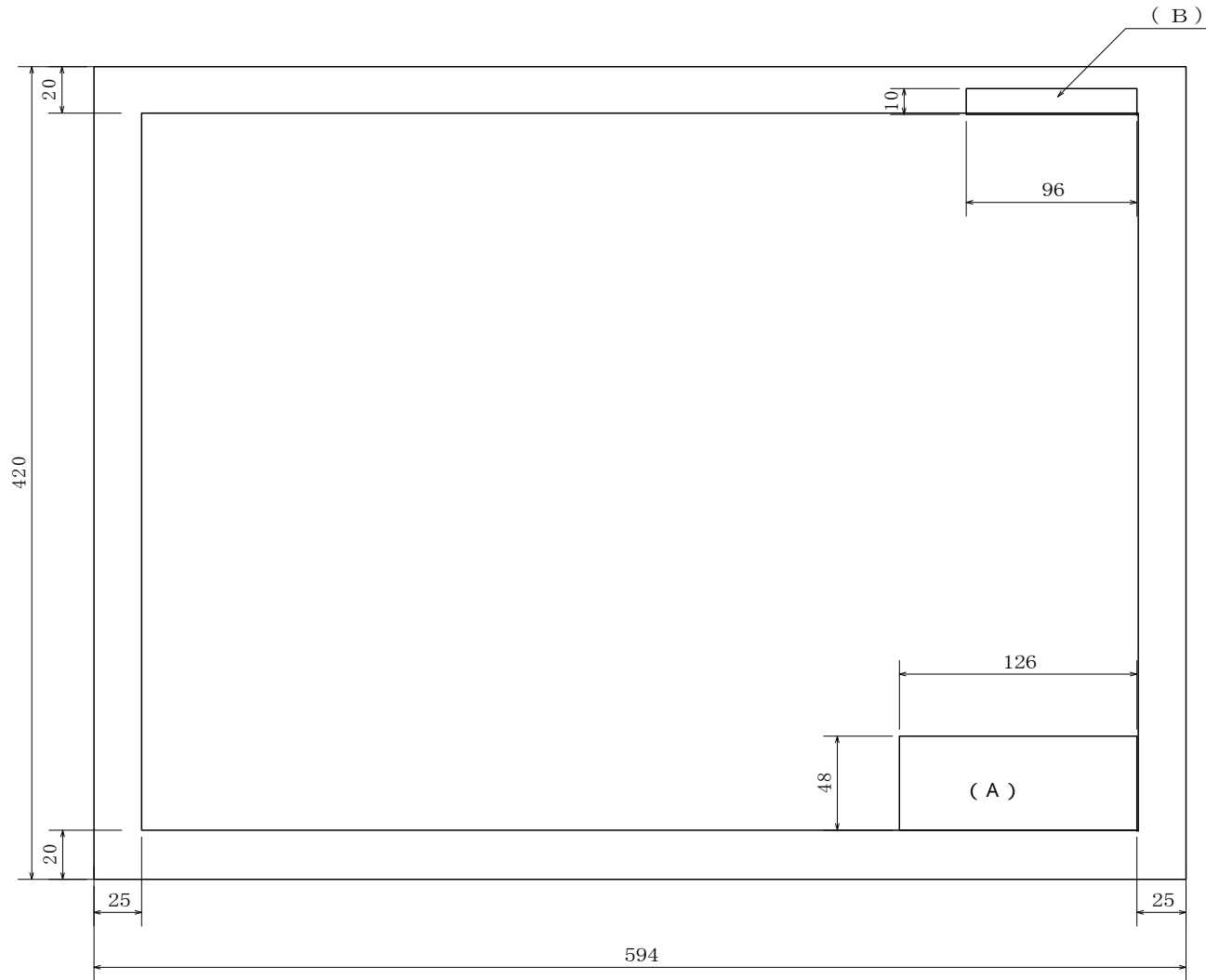
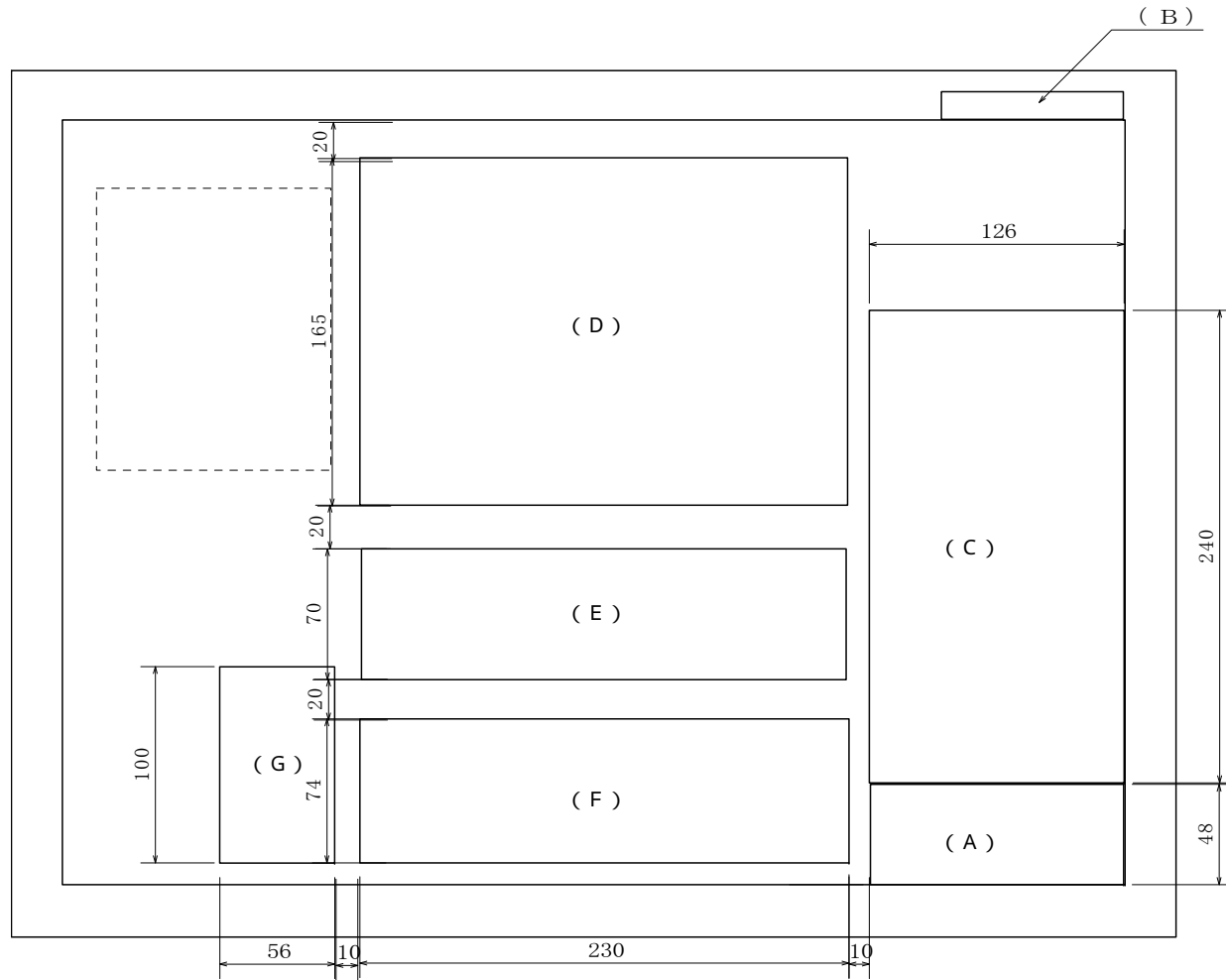


圖 - 2 經歷表等規格 (單位 mm)



		(C)				
		28	98			
240 12×10×120	24	件 名		14	84	
	24	場 所		右岸		
				左岸		
	12	水 系 別		河 川 名 等		
	24	河 川 等 管 理 者 (窓 口)		35	28	35
	施 工 公 所		管 理 公 所			
	完 成 図 番 号		完 成 年 月 日			
	架 設 形 式		管 種 ・ 継 手			
	口 径		管 厚			
	伸 縮 管 形 式		伸 縮 管 メ ー カ			
	空 気 弁 形 式		空 気 弁 メ ー カ			
	施 工 業 者 名		管 製 造 メ ー カ			
	電 防 設 備 の 種 類		電 防 管 理 番 号			
	耐 震 診 断		実 施 年 月		年 月	
内 外 面 腐 食 調 査 及 び 橋 台 等 部 損 傷 調 査 工 事		完 成 年 月 日		年 月 日		
		完 成 図 番 号				
36		摘 要				
		50	36	40		
		(幹 線) ←				
		126				
		20				

当該水管橋が幹線に属する場合
その幹線名を記入すること

(D)

水管橋塗覆装記録表

		架橋時	2 回	3 回	4 回	5 回		
10 × 5 = 50	件名							
	完成図番号							
	完成年月日							
	施工業者名							
	素地調整	管体						10
		その他						10
45	塗装仕様	下塗					15 × 3 = 45	
		(塗厚)						
		中塗						
系統色	(塗厚)							
	上塗							
	(塗厚)							
10 × 5 = 50	被覆服仕様							
	外装仕様							
	色標番号(色)							
	塗装メーカー							
	摘要							
		30	40 × 5 = 200					
		230						

(E)

水管橋補修工事記録表

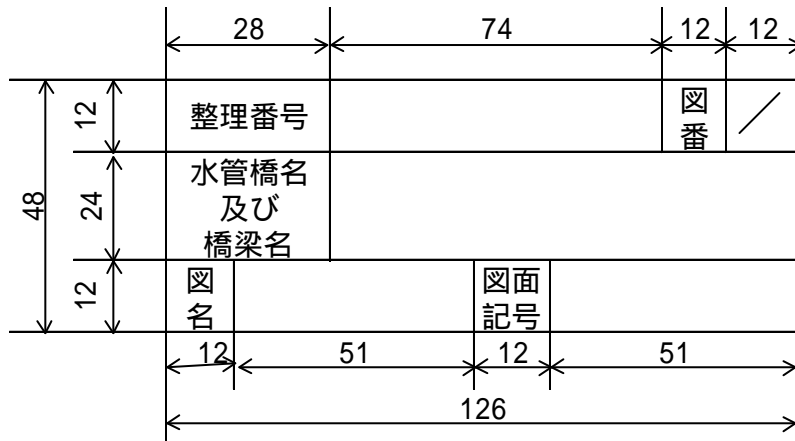
$10 \times 7 = 70$	件名						
	竣工図番号						
	竣工年月日						
	施工業者名						
	工事内容						
	摘要						
	補修工事箇所番号						
30		$40 \times 5 = 200$					
230							

(F)

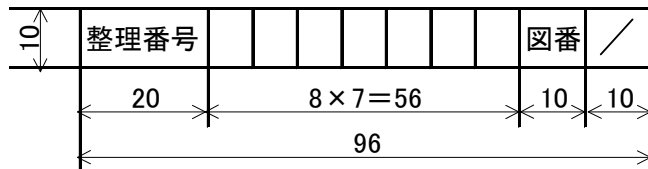
河川等占用許可更新記録表

74	10	$16 \times 4 = 64$	新規							
			申請番号							
			占用許可番号							
			占用許可年月日							
27			$29 \times 7 = 203$							
230										

(A)



(B)



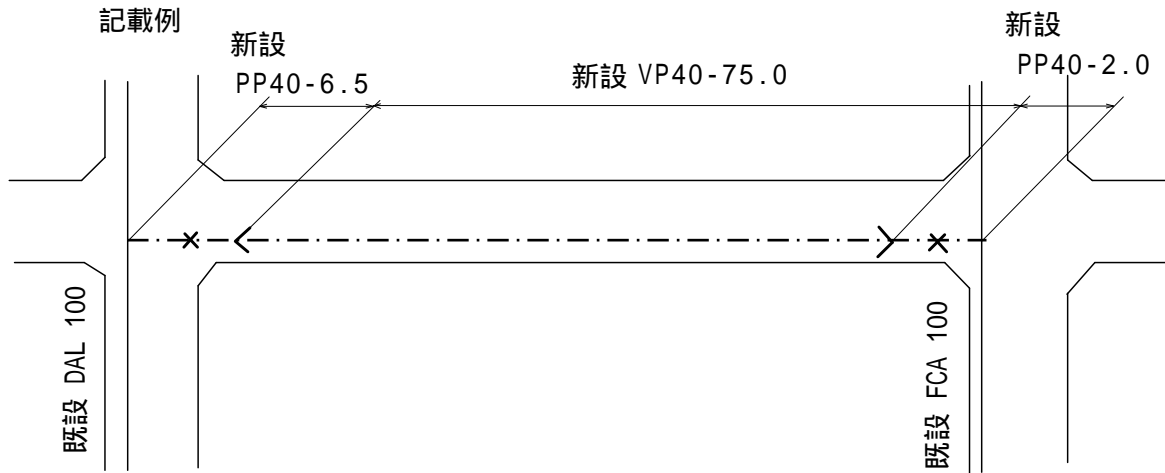
(G)

塗装面積表

$10 \times 10 = 100$	塗装箇所	面積 (m ²)
	管 体 (露出延長)	(m)
	伸縮継手	
	支 承	
	歩 廊	
	歩行防止柵	
	橋 脚	
	添架部材	
	その他 ()	
	計	
$28 \times 2 = 56$		

() 小口径配水管・仮設配水管の場合

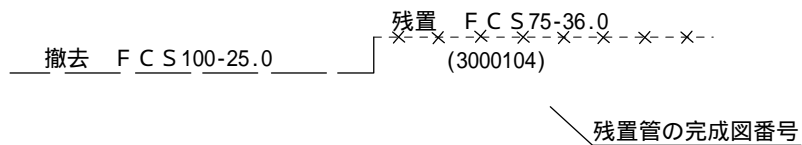
新設管の場合による。



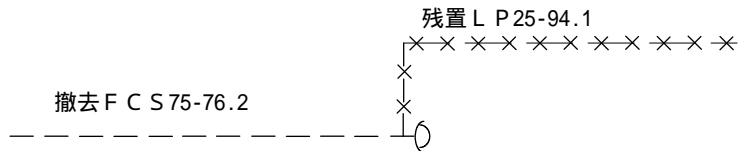
() 撤去・残置管の場合

新設管の場合による。

(記載例 - 1)



(記載例 - 2)

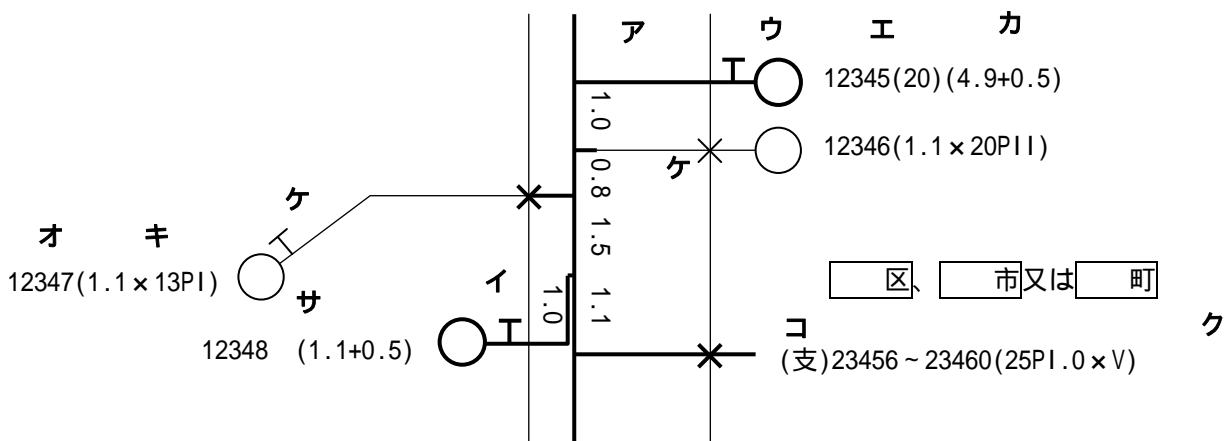


栓弁類の表示

栓弁類の表示は、7. 配管記号の平面図記号を用いる。

道路取付管の表示

() 道路取付管の表示は、原則として次の記載例により記入する。



- ア) 道路取付管 1 . . . 施工部分は太線表示、既設部分は細線表示（止水栓も同じ）とし、支管分岐を除き全てメータまで表示する。また、屋内部施工延長（公私境界からメータまでの距離）が1.0m未満のものは、現地のメータ筐が横向きであっても、道路取付管は真直ぐ表示する。
- イ) 道路取付管 2 . . . 分岐位置からメータまでの水平距離が0.3m以上ある場合、道路取付管を道路部にて直角に曲げて描画し、その水平距離についても記載する。なお、延長は垂直に布設した場合の距離を記載するものとする。
- ウ) メータシンボル . . . メータ筐がある給水栓は、取替、付替にかかわらず、全てメータのある位置に表示する（支管分岐は除く）。メータ筐を取り替えた場合は、太線で表示する（ を太線で表示）。水栓番号が不明又はメータ筐が存在しない場合は、 を表示する。
- エ) メータ口径 メータ口径13は省略する。
- オ) 水栓番号 道路取付管には必ず水栓番号を表示する（分譲地給水は、分譲地給水装置工事番号を表示）。0 0 0 0 0の記入方法は行わない。
水栓番号の所在区が、工事名の区、市及び町と異なる場合には、水栓番号の上に 区、 市又は 町と記載する。
- カ) 布設管詳細 1 メータまで抜替えた場合は（道路部布設管の口径、管種、延長+屋内部布設管の延長）を記入する。ただし、道路部布設管が 20 のポリ二層管の場合は、（道路部布設管の延長+屋内部布設管の延長）のみでよい。
- キ) 布設管詳細 2 途中まで布設し、既設管に接続した場合は（布設管の口径、管種、延長×既設管の口径、管種）を記入する。
- ク) 布設管詳細 3 支管分岐の場合で、抜替をした場合（布設管詳細 1 ×本線の口径、管種）を記入する。抜替なかった場合は、キ) に準ずる。
[管種] P : ポリエチレン2層管 P : ポリエチレン1層管
V : ビニル管 L : 鉛管
- ケ) 既設の止水栓 取付管の止水栓を取替えない場合でも、既存の止水栓は全て記入する。
- コ) 支管分岐 水栓番号の前に「（支）」を記入する。その際、「（支40）」のように道路取付管の口径は記入しない。また、メータシンボルは記入せずに、水栓番号はすべて記載する。
- サ) 逆流防止 逆流防止機能付止水栓又は副栓付逆流防止器を設置した場合は、水栓番号の後に下記の印を記載する。また、説明注記として【 逆流防止機能付止水栓等へ取替】を平面図に記載する。
「逆流防止機能付止水栓」：
- () 布設管詳細にて記す中で、「20 P」は省略するため、以下の説明分を完成図に記すこと。
【道路取付管新設部で20 P は省略する。道路取付管布設延長は道路延長+屋内延長、また「×」以降は接続部詳細である。】

- () 隣接する道路取付管の表示内容のいずれかが同一の場合は、「 }」の記号でまとめて表示することができる。
- () 表示は、二段書きとすることができる。一段書きの場合、布設管詳細には()を、二段書きの場合は道路取付管の延長に線を引き、その上下に記入する。ただし、同一の完成図内での記入方法は、原則として統一すること。
- () 道路取付管の分岐間隔(0.1m単位)を記入する。
- () 施工前に分岐されていた道路取付管を分岐しなかった場合は、平面図が記載されている頁の余白に、該当する道路取付管に付随する全ての水栓番号を記載する。

(4) 出巾・深度の表示

基準点

- () 出巾測定は、公私境界線
- () 深度測定は、道路面

新設管の記入個所

- () 直線部については、50m間隔又は道路1スパンに1個所
- () 布設位置が変わるごと
- () 栓弁類設置個所

既設管の記入個所

- () 連絡工事個所
- () 既設管の修理個所

残置管の記入個所

- () 管閉塞個所
- () 直線部については、50m間隔又は道路1スパンに1個所
- () 栓弁類残置個所

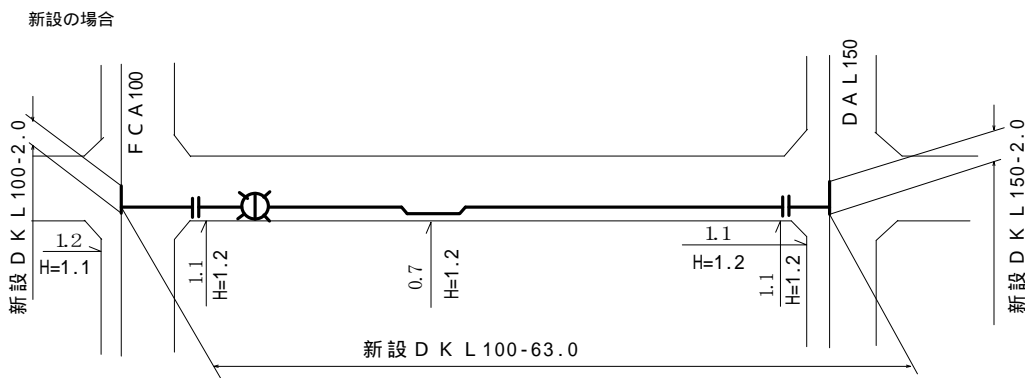
記入位置

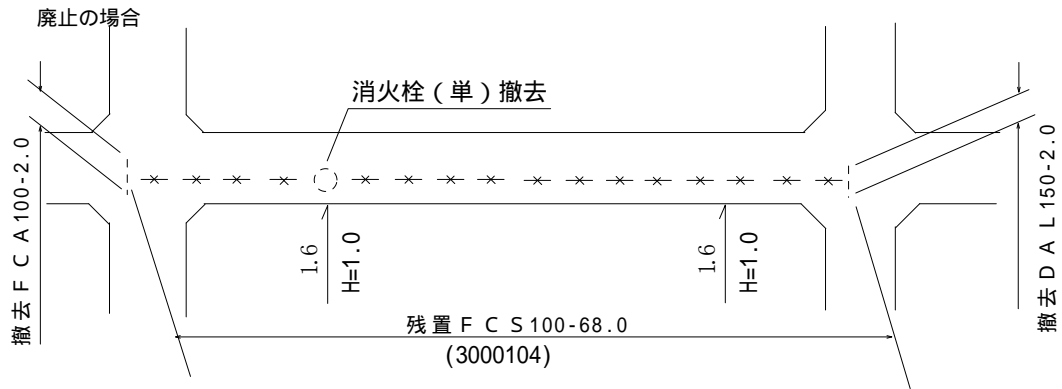
管路が埋設されている側の私有地内で矢印を付け、出巾、深度を記入する

表示数値

出巾の表示は数値のみ記入し、深度は数値にH = を付け記入する。

記入する数値は、いずれもm単位で小数第1位まで表示する。





(5) 完成図には、別に定める場合を除き、縮尺を表示する。

(6) 他の工作物の表示

他の工作物は、その工作物の形状に応じて、7. 配管記号の他の工作物記号を用いる。

2.5 各種標示欄

完成図には、次に掲げる標示欄を標示する。

(1) 標題欄

標題欄は、次に示す様式により図面右下端に位置し、当該事項を記載する。

名古屋市上下水道局										7	65
所 属 長	設計番号	完成			年 月 日					5	
		副 又 は 所 係 長	工 事 名								
係 長	図 名			縮					11		
		担 当 者	図面 記号	サイズ		図	番		11		
種別	請負								11		
	業者										
7		32			7		27				
17		10		14		10		39			
90											

図面記号の欄には、1/500配管図の図面記号を、サイズ欄は図面の規格を表す。

工事個所が2個所以上のときは、工事名の他に工事個所の地名を工事名欄に記入する。

完成図が完成したら、直ちに当局の審査を受け、サインもしくは検印を得るものとする。

(2) 工事施工量表

工事施工量表は、工事位置図を記入した図面の標題欄最上部に位置し、配水管、小口径配水管、仮設配水管及び栓弁類等の新設、撤去、残置、施工量（延長・個数）を記載する。なお、工事個所が2個所以上のときは、最初の図面に工事施工量の総括表を記入すると共に、各位置図を記入した図面ごとの施工量を表示する。

水管橋及び橋梁添架工事の場合は、橋梁部及び埋設部を区分して記載する。

施 工 量					
名 称	形 状	新 設	撤 去	残 置	
25		15	17	16	17
90					

(3) 指示書番号欄（指示書工事の場合）

指示書番号欄は、工事施工量表の下部に配置し、施工指示書番号を記入する。

指示書番号		6
40		50

(4) 占用許可番号欄

占用許可番号欄は、工事施工量表の下部に配置し、道路占用許可番号及び河川占用許可番号並びにその他の占用許可番号と許可年月日を記入する。

占用許可番号		6
許可年月日	平成 年 月 日	6
40		50

(5) 完成図整理番号欄

完成図整理番号欄は、次の様式により図面右上端輪郭線の外に配置する。

						↑ d ↓	↑ B ↓
記号	年度	科目	設計番号	指示番号	図番	c	
← →	← b →	← a →	← b →	← a →	← a →		
← A →							

各部の寸法は、次のとおりとする。

完成図整理番号欄寸法

図面規格		A 1	A 2	A 3	A 4
寸	A	156	112	78	56
	a	22	16	11	8
	b	34	24	17	12
法	B	22	16	11	8
	c	8	6	4	3
	d	14	10	7	5

記号は、1 / 2,500配管図の図面記号

年度は、設計年度

科目は、巻末の完成図整理科目コード表に基づく。

設計書の場合、指示番号欄は「01」を記入。

指示書の場合、図番は指示番号ごとに「01」から付番。

2.6 バルブを新たに設置した場合

(1) バタフライ弁及び呼び径500mm以上の仕切弁を設置した場合は、完成図に新設バルブ情報を記入する。

さらに、当局監督員は完成検査後速やかにバルブ情報のコピーを配水課管理係担当者へ提出する。

(2) 新設バルブ情報としての記載事項は、次の事項とする。

幹線名

設置場所

呼び径・形式・継手

スピンドルまでの深さ

全回転数（主弁・副弁）

設置年月日

製造メーカー

その他

2.7 電子媒体の作成

(1) 電子媒体の作成

電子媒体は、光ディスク(CD-R)とする。

CD-Rの論理フォーマットはWindowsフォーマットとする。

CD-Rは工事一件ごとに作成し、完成図ラスタファイル、完成図CADファイル、道路取付管情報ファイルを格納する。

CD-Rには、印刷または油性ペン等により、ディスク表面に完成番号・工事件名・完成年月日・請負業者名を表記する(右図参照)。

紙製もしくは透明ビニール製の保護ケースに入れ、プラスチック製ハードケースは使用しないものとする。

CD-Rは請負人の負担で用意する。

(2) 完成図ラスタファイルの作成

ラスタファイルはTIFF形式とし、工事一件で複数枚の完成図がある場合、工事一件ごとに一つのファイルにまとめる(マルチTIFF形式)。

ラスタファイルの仕様は以下のとおりとする。

- () 色数 モノクロ2色
- () 圧縮形式 G4形式
- () 解像度 300dpi
- () 用紙サイズ 原寸(A1~A4)

(3) 完成図CADファイルの作成

CADファイルは、本基準中の完成図CADファイル作成細則に基づくものとする。

(4) 道路取付管情報ファイルの作成

道路取付管を施工した場合は、道路取付管情報ファイルを作成する。

道路取付管情報ファイルはCSV形式(カンマ区切りテキスト形式)とする。

道路取付管情報ファイルには、道路部を全部取替えた取付管の情報を入力する。道路部で既設管と接続した取付管(付替)の情報は入力しない。

道路取付管情報ファイルには、1行目に以下のカラムヘッダー(見出し行)を付ける。

所在区,装置区分,水栓番号,枝番,管種(公道側),管種(上流側),
布設年度,口径(公道側),口径(上流側),逆流防止,設置年月

ここで、「(上流側)」とは、メータ上流側を表す。道路取付管を公私境界まで施工し既設管と接続した場合など、メータまで施工していない場合は、「(上流側)」の項目は入力しなくてよい。

支管分岐の場合は、水栓番号は本栓の水栓番号を記載する。本栓番号が判別できない場合は、当局監督員に問い合わせること。

布設年度は、設計年度を西暦で記載する。

「逆流防止」、「設置年月」において、本工事で設置していない場合は入力しなくてよい。

「設置年月」は、西暦及び月(数字6桁)で記載する。



CD-R 作成例

(道路取付管情報ファイルの例) p. -25 のように道路取付管を施工した場合
 所在区,装置区分,水栓番号,枝番,管種(公道側),管種(上流側),
 布設年度,口径(公道側),口径(上流側),逆流防止,設置年月
 1,1,12345,0,PP2,PP2,2009,20,20,2,200908
 1,1,12347,0,PP2,,2009,20,,,
 1,1,12348,0,PP2,PP2,2009,20,20,1,200908
 1,1,23456,0,PP2,,2009,25,,,

12346は道路分を全部取替えていないため、入力しない。

(5) ファイルの命名規則

ファイル名は、完成図整理番号の年度・科目・設計番号・指示番号を並べた10桁の英数字とする。
 拡張子は、完成図ラスタファイルは.tif、完成図CADファイルは.dxfとする。

(例) 平成17年度 配501号(設計書)の場合

ファイル名は、完成図ラスタファイル	H170050101.tif
完成図CADファイル	H170050101.dxf
道路取付管情報ファイル	H170050101.csv とする。
命名規則の説明	<u>H17</u> <u>00</u> <u>501</u> <u>01</u>
	年度(年号表記を含め3字)
	科目整理コード(2字)
	設計番号(3字)
	指示番号(2字、設計書の場合「01」とする)

給水装置工事道路分施工工事仕様書に基づく工事は以下の例による。

(例) 平成17年度 千種営業所 設計番号242-010号の場合

ファイル名は、	H17A242010.tif、H17A242010.dxf、H17A242010.csvとする。
命名規則の説明	<u>H17</u> <u>A</u> <u>242</u> <u>010</u>
	年度(年号表記を含め3字)
	担当公所識別文字
	事項番号(3字)
	指示番号(3字、下期は501からの連番とする)

注) 下期の指示番号	5001	501
	5123	623(千の位と百の位を足して、3桁にする)

道路取付管情報ファイルの各コードは以下のとおりとする。

(所在区)

コード	所在区	コード	所在区
1	千種区	31	春日井市(北)
2	東区	32	豊山町(北)
3	北区	43	北名古屋市
4	西区	44	清須市
5	中村区	47	稲沢市(西)
6	中区	51	大治町
7	昭和区	52	あま市
8	瑞穂区	61	尾張旭市(守山)
9	熱田区	71	日進市(名東)
10	中川区	72	日進市(天白)
11	港区	81	豊明市(緑)
12	南区	82	東海市(緑)
13	守山区	84	東郷町(緑)
14	緑区		
15	名東区		
16	天白区		

(装置区分)

コード	装置区分
1	専用栓
2	共用栓
3	私設消火栓

(管種)

コード	管種
PP2	ポリエチレン2層管
PP1	ポリエチレン1層管
VP	ビニル管
HI	HIビニル管
SP	鋼管(亜鉄管)
CP	銅管
GP	亜鉛メッキ鋼管
LP	鉛管
D	ダクタイル鋳鉄管
FC	鋳鉄管
VLP	ビニルライニング鋼管

所在区の()内は所管営業所

(逆流防止)

コード	逆流防止装置区分
0	なし
1	逆流防止機能付止水栓設置

担当公所識別文字は、以下のとおりとする。

営業所	千種	A	東	B	北	C	西	D
	中村	E	中	F	昭和	G	瑞穂	H
	熱田	I	中川	J	港	K	南	L
	守山	M	緑	N	名東	O	天白	P
配水事務所	東配水	V	北配水	W	西配水	X	南配水	Y

2.8 縮小版及び製本版の作成

(1) A4縮小版

完成図電子ファイルからA4縮小版を作成する。

A4縮小版は、レーザープリンタにより上質紙に出力する。

(2) 製本版

呼び径500mm以上の配水管工事及び構造物築造工事の場合は、電子ファイルをレーザープリンタにより上質紙に出力したものを製本する。

製本は、左端ホッチキス止めとする。

製本には、次の事項を記載した表紙を貼付する。

(a) 工事期間(自・至)

(b) 完成図整理番号

(c) 工事名

(d) 施工種別

(e) 請負業者名

The diagram shows a rectangular table with a vertical dashed line on the left side, representing a binding margin. The table is divided into five rows, each with a label on the left and a corresponding box on the right. The labels are (a) through (e). The boxes are arranged as follows: (a) and (b) are in the top row, (c) is in the middle row, and (d) and (e) are in the bottom row.

(a)	(b)
(c)	
(d)	(e)

(4) A4縮小版、製本版とも完成図に添え提出する。

2.9 その他

(1) 配水管、小口径配水管、道路取付管及び附帯工事で、前項までに定めた以外に必要とする図が生じたときは、この仕様書に準拠して作成しなければならない。

(2) 位置・平面・側面・断面等の各図は、差し支えない限り同一用紙にまとめてよい。

3 . 防食設備管理図作成細則

導水管・送水管・配水管及び局施設内に電気防食設備を設置した場合に、本細則で定める基準に従い、防食設備管理図を作成する。

なお、1施設につき1管理図を作成するものとする。

3 . 1 作図内容

工事完成図で作成された、位置図・平面図・側面図・断面図・詳細図等の各図面から防食設備に必要な部分を抽出・集約して、防食設備管理図を作成する。

3 . 2 作成図面の種類

(1) 位置図

防食設備の位置を示すもので、縮尺は1 / 2,500を原則とするが、1枚の図面にはいりきらない場合は、1枚におさまるように縮尺を考える。

1 / 2,500配管図の地形図を利用する。

図面の左上端に配置するのを原則とする。

町名及び目標となる著名な建物等の名称を記入する。

設備の位置は太い実線で記入し、当該箇所を円で囲むか、「工事箇所」と記入する等によって明示する。

(2) 平面図

防食設備の平面的な位置が、判断できるもの。特に管体と防食設備（マグネシウム陽極など）との位置関係が、わかるように作図する。

縮尺はとわれないが、図面判読の支障にならない程度のものを用いる。

管体や附属具類の形状寸法（管種・継手・呼び径・塗覆装）、布設位置（出巾・深度）、延長を記入する。防食設備についても同様の記入方法とする。特にリード線の引回し状況は、詳細に記入する。

他企業埋設物との位置関係も必ず記入する。

(3) 断面図

防食設備の断面的な位置が判断できるもの、特に管の埋設深度や防食設備の位置・深さの明示は、正確にするとともに、他の埋設物との位置関係も明確に表示する。

縮尺はとわれないが、図面判読の支障にならない程度のものを用いる。

管体や附属具類の形状寸法（管種・継手・呼び径・塗覆装）、布設位置（出巾・深度）、延長を記入する。防食設備についても同様の記入方法とする。特にリード線の引回し状況は、詳細に記入する。

他企業埋設物との位置関係も必ず記入する。

(4) オフセット図

ジョイントボックス・測定端子ボックス等の地上に出る防食設備は、全てオフセット図を作成する。

基準点

(a) 基準点は3点とし、原則として隅切及び直近の公私境界とする。

(b) 測点(ボックス中心)から基準点までの距離を測定し、数値はm単位で小数以下第一位まで記入する。

縮尺

縮尺は問わないが、道路幅員・交差点内の栓弁類にある程度対応させる。

(5) 詳細図

各設備の詳細を記入するもので、縮尺は問わないが、設備の形状等が判読できるものとする。

防食材料図

マグネシウム・亜鉛・アルミニウム陽極など、使用された陽極の形状寸法・仕様を記入する。

各防食設備図

排流器(選択・強制)、外部電源装置(電源・電極)などの形状寸法・仕様を記入する。

ターミナル取付図

管体とリード線の取付け詳細図である。取付け方法とターミナルの構造がわかるように記入する。

電防ボックス図

ジョイントボックス・測定端子ボックスの形状寸法などの構造詳細図を記入するとともに、陽極と管体リード線の結線状態も詳細に記入する。

3.3 標題欄

管理図には、次の様式による標題図を図面右下端に配置し、当該事項を記載する。

管理番号は、作成の都度別途指示する。

完成番号は、設計番号を記入する。

工事名は、設計図の工事件名を記入する。

設置場所は、防食設備を設置した場合を記入する。

図面記号は、配管図索引の記号を用いて、設置場所で明記した場所の図面記号で記入する。

完成は、防食設備の完成年月日を記入する。

防食設備の種類は、設置した防食設備の種類と仕様で、たとえば「マグネシウム陽極17S X 2本」〔屋外自立型自動定電位式外部電源DC・60V - 25A〕というように記入する。

初期測定値は、防食設備施工完了時点での防食効果測定(管対地電位・陽極発生電流・通電電流・排流電流など)の実測値を記入するもので、複数の場合は代表的なもの1つを記入する。

請負業者は、防食設備工事を請負った業者名を記入する。

測定業者は、防食効果測定を実施した業者名を記入する。

標題欄の大きさ

← 90 →				
← 21 →	← 69 →			
防 食 設 備 管 理 図				6
管理番号				6
完成番号				6
工 事 名				12
設置場所				12
図面記号				6
完 成	年 月 日			6
防食設備の種類		初期測定値		6
← 47 →		← 43 →		
← 17 →	← 30 →	← 17 →	← 26 →	18
請 負 業 者		測 定 業 者		12

↑ 90 ↓

3.4 記載例

記載例は別添（P - 56）防食設備管理図記載例のとおりである。

3.5 その他

防食設備管理図の作成について、疑義があるときは、配水課管理係へ問い合わせること。

4 . 完成図CADファイル作成細則

送水管、配水管、小口径配水管、道路取付管の工事を施工した場合は、完成図CADファイルを作成し、電子媒体に記録して提出する。完成図CADファイルは、CADにより作成した布設管図の平面図を基本とし、本細則に定める基準に従い作成する。

4 . 1 基本事項

完成図CADファイルのフォーマットはDXF形式とする。

完成図CADファイルは、当局が出力する図面情報管理システムの背景図に合致するよう作図する。背景図は、DXF形式の背景図ファイルとして当局施工担当公所にて監督員から請負人に貸与する。

背景図は、平面直角座標系（系）の座標値が記録されているため、この座標値に基づいて作図すること。

土地区画整理等、背景図ファイルに道路地形が存在しない場合は、請負人により正確な地形を作図すること。

完成図CADファイルは、当局図面情報管理システムの更新データとなるものであるため、正確に作図しなければならない。

4 . 2 作図内容

完成図CADファイルは、CADにより作図した布設管図の平面図を使用し、加えて、実際の配管状況に合致した管路図を作図したものとする。

完成図CADファイルには、布設管図の平面図に記載された内容は、すべて同じく作図されていなければならない。

直管、切管、異形管等は、原則として全て実寸に基づく正確な寸法で、正確な位置に作図する。

栓弁類は、測定したオフセットに基づいて正確な位置に作図する。

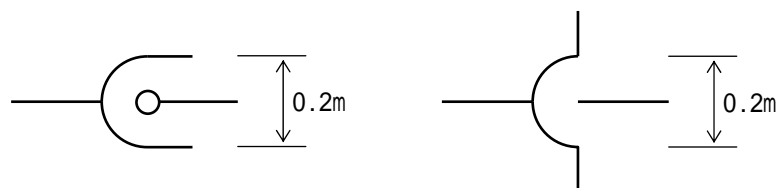
継手は、省略することなく全ての継手を正確な位置に作図する。

により正確な位置に作図した栓弁類と、により正確な寸法で作図した管類の位置が整合しない場合は、直管及び切管の寸法を適当に調整して作図することができる。

管類、栓弁類の名称・寸法表示は、平面図の引出線その他の表示と重なり合ってもかまわない。

継手の大きさは、円弧部の直径が0.2mとなるのを標準とする。

(例)



栓弁類は、1/500の平面図で判別できる大きさのものとは別に、継手の大きさと同程度に合わせたものを別途作図する。

道路取付管等についても、にしたがい平面図に記載された内容を、すべて同じく作図する。

4.3 CADデータ仕様

ファイル名は、2.7 電子媒体の作成に基づいて命名する。

レイヤ名は、6. 完成図CADファイル レイヤ構成表に掲げるとおりとする。作図内容は、各レイヤに誤りなく作図すること。

線色（色コード）は、レイヤ毎に別表に掲げるとおりとする。

文字及び線は、1.5 文字及び線に基づく。

完成図DXFファイルは、別表の項目「初期表示」に掲げるレイヤを表示状態とし、他のレイヤは非表示状態として、布設管図の平面図と同様の図面として提出する。

5 . 完成図整理科目コード表

00	10	20	30	40	50	60	70	80	90
配	給	改	拡	復	大津南	大曽根北		浄	工水
01	11	21	31	41	51	61	71	81	91
請配 32年以前	給業	請改 32年以前	配拡	関復	清水	新出来		春浄	工浄
02	12	22	32	42	52	62	72	82	92
受配		受改	給拡	単複	豊田	筒井		鍋浄	工施
03	13	23	33	43	53	63	73	83	93
給受配	給台	単改	浄整	関単複	大曽根	葵		大浄	
04	14	24	34	44	54	64	74	84	94
一般	配給	災改	水整	復特	菊井	有松		浄施	
05	15	25	35	45	55	65	75	85	95
東管配	防災配	台改			駅西	大高駅前		春施	
06	16	26	36	46	56	66	76	86	96
給配	鍋配	給改			広路西	ささしま		鍋施	
07	17	27	37	47	57	67	77	87	97
消		浄改			梅ノ木			大施	
08	18	28	38	48	58	68	78	88	98
拡下請					中昭穂				
09	19	29	39	49	59	69	79	89	99
終未 下処					千種東 西 山				

48・49は、上下水道一括発注工事で、水道工事もしくは工業用水道の設計番号が存在しない場合に利用するコードのため、欠番とする。

98・99は、配管工事完成図システム内部で利用しているコードのため、欠番とする。

6 . 完成図CADファイル レイヤ構成表

レイヤ名	説明	備考	色コード	線色(参考)	初期表示	
31	地形	当局が図面情報管理システムから出力する背景レイヤ	7	黒	○	
32	家形		7	黒		
41	家形		7	黒		
51	水道施設 配水管		7	黒	※	
52	水道施設 注記		7	黒	※	
53	水道施設 出幅深度		7	黒		
81	地形		7	黒	○	
82	家形		7	黒		
1001	給水装置 給水管		7	黒		
1002	給水装置 使用者名		7	黒		
1003	給水装置 水栓番号		7	黒		
1051	工業用水道施設 工業用水道管		7	黒	※	
1052	工業用水道施設 注記		7	黒	※	
1053	工業用水道施設 出幅深度		7	黒		
7001	図枠			7	黒	
7002	(予備)					
7003	(予備)					
7004	(予備)					
7005	(予備)					
7006	ユーザ記入地形		背景図にない地形を作図するレイヤ	8	暗灰	
7007	(予備)					
7008	(予備)					
7009	(予備)					
7010	(予備)					
7011	仮想線(1)	作図作業用の仮想線レイヤ	3	緑		
7012	仮想線(2)	仮想線レイヤを使い分ける場合に利用	4	シアン		
7013	(予備)					
7014	(予備)					
7015	(予備)					
7016	位置図注記・図形	(配管工事完成図システム用)	16	茶		
7017	オフセット図注記・図形	(配管工事完成図システム用)	16	茶		
7018	平面図注記・図形	平面図の引出線その他の表示を作図。	16	茶	○	
7019	管路図注記・図形	管類、栓弁類の名称・寸法表示を作図。	16	茶		
7020	縦断面図注記・図形	(配管工事完成図システム用)	16	茶		
7021	その他注記・図形	(配管工事完成図システム用)	16	茶		
7022	(予備)					
7023	(予備)					
7024	(予備)					
7025	(予備)					
7026	経歴変更点・管種変更点	(図面情報管理センター用)				
7027	区切り記号	(図面情報管理センター用)				
7101	既設 配水管		250	極暗灰	○	
7151	既設 制水弁類 平面図		250	極暗灰	○	
7152	既設 乙止水栓 平面図		250	極暗灰	○	
7153	既設 止水弁 平面図		250	極暗灰	○	
7161	既設 消火栓類 平面図		250	極暗灰	○	
7166	既設 空気弁類 平面図		250	極暗灰	○	
7171	既設 ユニオン等 平面図		250	極暗灰	○	
7173	既設 片落管等 平面図	片落管、帽・栓、レジャーサ、キャップを含む	250	極暗灰	○	
7181	既設 テレメータ等 平面図		250	極暗灰	○	
7186	既設 ドレン 平面図		250	極暗灰	○	
7187	既設 上下交差 平面図		250	極暗灰	○	
7201	新設 配水管口径 13mm		176	極暗青	○	
7202	新設 配水管口径 20mm		176	極暗青	○	
7203	新設 配水管口径 25mm		176	極暗青	○	
7205	新設 配水管口径 40mm		176	極暗青	○	
7206	新設 配水管口径 50mm		176	極暗青	○	
7207	新設 配水管口径 75mm		176	極暗青	○	
7208	新設 配水管口径 100mm		176	極暗青	○	
7209	新設 配水管口径 150mm		176	極暗青	○	
7210	新設 配水管口径 200mm		176	極暗青	○	
7211	新設 配水管口径 250mm		176	極暗青	○	
7212	新設 配水管口径 300mm		176	極暗青	○	
7213	新設 配水管口径 350mm		176	極暗青	○	
7214	新設 配水管口径 400mm		176	極暗青	○	
7215	新設 配水管口径 450mm		176	極暗青	○	
7216	新設 配水管口径 500mm		176	極暗青	○	
7217	新設 配水管口径 600mm		176	極暗青	○	
7218	新設 配水管口径 700mm		176	極暗青	○	
7219	新設 配水管口径 800mm		176	極暗青	○	
7220	新設 配水管口径 900mm		176	極暗青	○	

レイヤ名	説明	備考	色コード	緑色(参考)	初期表示
7221	新設 配水管口径 1000mm		176	極暗青	○
7222	新設 配水管口径 1100mm		176	極暗青	○
7223	新設 配水管口径 1200mm		176	極暗青	○
7224	新設 配水管口径 1350mm		176	極暗青	○
7225	新設 配水管口径 1500mm		176	極暗青	○
7226	新設 配水管口径 1600mm		176	極暗青	○
7227	新設 配水管口径 1650mm		176	極暗青	○
7228	新設 配水管口径 1800mm		176	極暗青	○
7229	新設 配水管口径 2000mm		176	極暗青	○
7230	新設 配水管口径 2001mm以上		176	極暗青	○
7231	(予備)	(鞘管)			
7236	(予備)	(道路取付管)			
7241	(予備)	(出幅・深度)			
7251	新設 制水弁・その他弁 平面図		30	橙	○
7252	新設 乙止水栓 平面図	小口径配水管の止水栓	30	橙	○
7253	新設 止水弁 平面図		30	橙	○
7260	新設 ダクタイル消火栓 平面図		30	橙	○
7261	新設 消火栓 平面図		30	橙	○
7262	新設 応急給水栓 平面図		30	橙	○
7263	新設 ダクタイル応急給水栓 平面図		30	橙	○
7264	新設 地下式給水栓 平面図		230	桃	○
7265	新設 ダクタイル空気弁 平面図		130	シアン	○
7266	新設 空気弁 平面図		130	シアン	○
7271	新設 ユニオン 平面図		176	極暗青	○
7272	(予備)	(区切り記号)			
7273	新設 片落管 平面図	レジャーサを含む	176	極暗青	○
7274	新設 帽・栓 平面図	キャップを含む	176	極暗青	○
7281	(予備)	(電蝕防止)			
7282	(予備)	(水管橋)			
7283	新設 テレメータ 平面図		176	極暗青	○
7284	(予備)	(維持工事)			
7285	(予備)	(耐震性貯水槽)			
7286	新設 ドレン 平面図		176	極暗青	○
7287	新設 上下交差 平面図		176	極暗青	○
7401	残置 配水管類		96	極暗緑	○
7451	残置 制水弁類 平面図		96	極暗緑	○
7452	残置 乙止水栓 平面図	小口径配水管の止水栓	96	極暗緑	○
7453	残置 止水弁 平面図		96	極暗緑	○
7461	残置 消火栓類 平面図		96	極暗緑	○
7466	残置 空気弁類 平面図		96	極暗緑	○
7471	残置 ユニオン等 平面図		96	極暗緑	○
7473	残置 片落管等 平面図	片落管、帽・栓、レジャーサ、キャップを含む	96	極暗緑	○
7481	残置 テレメータ等 平面図		96	極暗緑	○
7486	残置 ドレン 平面図		96	極暗緑	○
7487	残置 上下交差 平面図		96	極暗緑	○
7501	撤去 配水管類		56	極暗黄	○
7551	撤去 制水弁類 平面図		56	極暗黄	○
7552	撤去 乙止水栓 平面図	小口径配水管の止水栓	56	極暗黄	○
7553	撤去 止水弁 平面図		56	極暗黄	○
7561	撤去 消火栓類 平面図		56	極暗黄	○
7566	撤去 空気弁類 平面図		56	極暗黄	○
7571	撤去 ユニオン等 平面図		56	極暗黄	○
7573	撤去 片落管等 平面図	片落管、帽・栓、レジャーサ、キャップを含む	56	極暗黄	○
7581	撤去 テレメータ等 平面図		56	極暗黄	○
7586	撤去 ドレン 平面図		56	極暗黄	○
7587	撤去 上下交差 平面図		56	極暗黄	○
8101	既設 マスク 管路図	管路図の継手部分に用いるマスク	250	極暗灰	
8102	既設 片落管 管路図		250	極暗灰	
8111	既設 継手 管路図	継手すべて(区別なし)	250	極暗灰	
8121	既設 さし口 管路図		250	極暗灰	
8122	既設 栓弁類 管路図	栓弁類すべて(区別なし)	250	極暗灰	
8123	既設 弁付割T字管 管路図	不断水分岐切換管を含む	250	極暗灰	
8141	既設 詳細図 管路図	詳細図のうち、人孔ふた	250	極暗灰	
8151	既設 給水管類 管路図	(未使用)	250	極暗灰	
8152	既設 メータ類 管路図	(未使用)	250	極暗灰	
8161	既設 その他 管路図	テレメータ、オーバー、ドレーンを含む	250	極暗灰	
8201	新設 マスク 管路図	管路図の継手部分に用いるマスク	176	極暗青	
8202	新設 片落管 管路図		176	極暗青	
8211	新設 継手(ソケット) 管路図	漏水防止押輪、内面修理を含む。つぎ輪、栓、帽は継手に含む	176	極暗青	
8212	新設 継手(メカニカル) 管路図	A・K・U	176	極暗青	
8213	新設 継手(タイト) 管路図	TP	176	極暗青	
8214	新設 継手(耐震) 管路図	TS・NS・US・KF・UF	176	極暗青	
8215	新設 継手(その他) 管路図	フランジその他の継手、カバージョイント、可撓管、ボール形可撓管を含む	176	極暗青	

レイヤ名	説明	備考	色コード	線色(参考)	初期表示
8221	新設 さし口 管路図		176	極暗青	
8222	新設 栓弁類 管路図	小口径配水管の止水栓、制水弁、消火栓、空気弁その他栓弁類を含む	176	極暗青	
8223	新設 弁付割T字管 管路図	不断水分岐切換管を含む	176	極暗青	
8241	新設 詳細図 管路図	詳細図のうち、人孔ふた	176	極暗青	
8251	新設 給水管類 管路図	(未使用)	172	暗青	
8252	新設 メータ類 管路図	(未使用)	172	暗青	
8261	新設 その他 管路図	テレメータ、オーバー、ドレーンを含む	176	極暗青	
8401	残置 マスク 管路図	管路図の継手部分に用いるマスク	96	極暗緑	
8402	残置 片落管 管路図		96	極暗緑	
8411	残置 継手 管路図	継手すべて(区別なし)	96	極暗緑	
8421	残置 さし口 管路図		96	極暗緑	
8422	残置 栓弁類 管路図	栓弁類すべて(区別なし)	96	極暗緑	
8423	残置 弁付割T字管 管路図	不断水分岐切換管を含む	96	極暗緑	
8441	残置 詳細図 管路図	詳細図のうち、人孔ふた	96	極暗緑	
8451	残置 給水管類 管路図	(未使用)	92	暗緑	
8452	残置 メータ類 管路図	(未使用)	92	暗緑	
8461	残置 その他 管路図	テレメータ、オーバー、ドレーンを含む	96	極暗緑	
8501	撤去 マスク 管路図	管路図の継手部分に用いるマスク	56	極暗黄	
8502	撤去 片落管 管路図		56	極暗黄	
8511	撤去 継手 管路図	継手すべて(区別なし)	56	極暗黄	
8521	撤去 さし口 管路図		56	極暗黄	
8522	撤去 栓弁類 管路図	栓弁類すべて(区別なし)	56	極暗黄	
8523	撤去 弁付割T字管 管路図	不断水分岐切換管を含む	56	極暗黄	
8541	撤去 詳細図 管路図	詳細図のうち、人孔ふた	56	極暗黄	
8551	撤去 給水管類 管路図	(未使用)	52	暗黄	
8552	撤去 メータ類 管路図	(未使用)	52	暗黄	
8561	撤去 その他 管路図	テレメータ、オーバー、ドレーンを含む	56	極暗黄	
9101	既設 給水管類 平面図	道路取付管(全口径)、甲止水栓、乙止水栓	250	極暗灰	○
9121	既設 メータ類 平面図	放水栓、不明栓、廃止栓、メータ	250	極暗灰	○
9201	新設 給水管 平面図	道路取付管(全口径)	172	暗青	○
9211	新設 給水仕切弁 平面図	50耗以下の道路取付管の仕切弁	172	暗青	○
9212	新設 甲止水栓(単体) 平面図		172	暗青	○
9213	新設 乙止水栓 平面図		172	暗青	○
9214	新設 放水栓 平面図		172	暗青	○
9219	新設 不明栓 平面図		172	暗青	○
9220	新設 廃止栓 平面図		172	暗青	○
9221	新設 メータ 平面図	甲止水栓付を含む	172	暗青	○
9401	残置 給水管類 平面図	道路取付管(全口径)、甲止水栓、乙止水栓	92	暗緑	○
9421	残置 メータ類 平面図	放水栓、不明栓、廃止栓、メータ	92	暗緑	○
9501	撤去 給水管類 平面図	道路取付管(全口径)、甲止水栓、乙止水栓	52	暗黄	○
9521	撤去 メータ類 平面図	放水栓、不明栓、廃止栓、メータ	52	暗黄	○

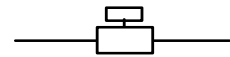
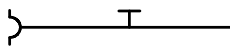
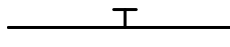
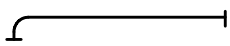
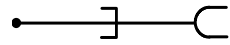
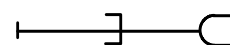

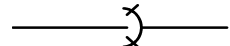
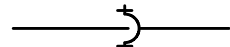

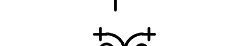


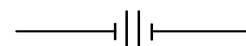
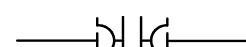
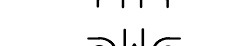

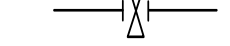
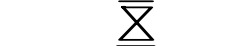
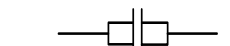
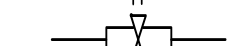
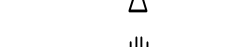
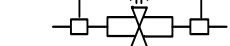

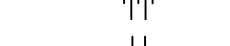
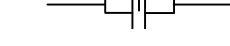
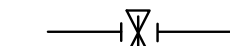
※工事に関係する施設は初期表示する(工事が水道工事のみの場合は、工業用水道施設は非表示とする)。

7. 配管記号

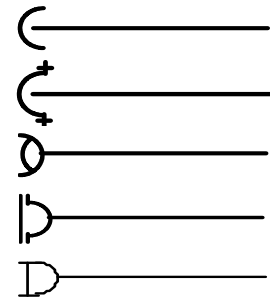
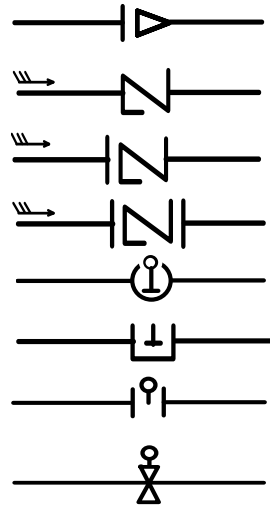
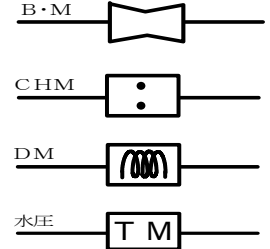
(1) 管路図記号

種 別	名 称	記 号
継手の形式	フ ラ ン ジ	
	ソ ケ ッ ト	
	ソケット継手 (内面修理)	
	メカニカル A形、K形	
	耐震系継手 K F形	
	内面継手 U形	
	耐震系継手 U F形	
	" U S形	
	" T S形	
	" N S形	
	" T S形 (ライナー使用)	
	" N S形 (ライナー使用)	
	タイトント形、PIP工法用P形	
	PIP工法用P形、PN形	
	石綿セメント	
	ギボルト	
	CAジョイント	(石綿管) (铸铁管)
	ドレッサー	
ビクトリック		

種 別	名 称	記 号
異形管	三 受 十 字 管	
	二 受 T 字 管	
	排 水 T 字 管	
	受 さ し 片 落 管	
	"	(T S 形)
	"	(N S 型)
	さ し 受 片 落 管	
	"	(T S 形)
	"	(N S 形)
	曲	管
	乙	字 管
	F 付 T 字 管	
	う ず 巻 き 式 F 付 T 字 管	
	短 管 1	号
	短 管 2	号
	継 ぎ 輪 (ソ ケ ッ ト)	
	"	(メ カ ニ カ ル)
	"	(N S 形)
	T S 継 ぎ 輪 (離 脱 防 止 用)	
	特 殊 継 ぎ 輪	
	2 F 短 管	管
	可 撓	管
	ベ 口 -	ズ
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 伸 縮 可 撓 管	
(ボ ー ル 型 伸 縮 可 撓 管)		
割 T 字 管		
弁 付 割 T 字 管 (バ ル ブ 式)		
弁 付 割 T 字 管 (ソ フ ト 弁 再 用)		
(可 撓 式 の 場 合 は 名 称 ・ 形 式 を 記 入)		















種 別	名 称	記 号
異形管	弁付割 T 字管 (ヘッド式)	
	仕切弁副管 A 1 号	
	” A 2 号	
	” B 1 号	
	中間スリーブ管 (U 形)	
	” (US 形)	
	不断水切換分岐管	
押輪	漏水防止押輪	
	特殊押輪 (メカニカル)	
	” (タイトン)	
	D N S 特殊押輪	
	カバージョイント	
バルブ	仕切弁 (ソケット)	
	” (フランジ)	
	仕切弁 (TS 形両受け)	
	ソフトシール仕切弁 (NS 形両受け)	
	バタフライ弁	
	補修弁	
	仕切弁 (不断水式)	
	バタフライ弁 (不断水式)	
	副弁付バタフライ弁 (不断水式)	
	副弁内蔵式仕切弁	
	副弁内蔵式仕切弁 (不断水式)	
	副弁内蔵式バタフライ弁	
	副弁内蔵式バタフライ弁 (不断水式)	
	バタフライ弁 (充水・通水機能付)	
止 水 弁		

(2) 管路図平面図併用記号

種 別	名 称	記 号
異形管	帽 メ カ 帽 栓 (ソ ケ ッ ト) " (メ カ ニ カ ル) " (N S 形)	
弁類	減 圧 弁 逆 止 弁 仕 切 弁 + 逆 止 弁 仕 切 弁 + 逆 止 弁 + 仕 切 弁 電 動 口 - ト 弁 水 位 調 整 弁 電 動 仕 切 弁 電 動 バ タ フ ラ イ 弁	
計測機器	ベ ン チ ュ リ - メ - タ - 超 音 波 流 量 計 電 磁 流 量 計 各 種 (水 圧 ・ 流 量 ・ 水 質) 遠 方 監 視 装 置	

(3) 平面図記号

種 別	名 称	記 号
バルブ	仕 切 弁	
	ソ フ ト シ ー ル 仕 切 弁	
	副 弁 付 仕 切 弁	
	副 弁 内 蔵 式 仕 切 弁	
	バ タ フ ラ イ 弁	
	副 弁 付 バ タ フ ラ イ 弁	
	副 弁 内 蔵 式 バ タ フ ラ イ 弁	
	バ タ フ ラ イ 弁 (充 水 ・ 通 水 機 能 付)	
	止 水 弁	
消 火 栓	単 口 消 火 栓	
	双 口 " "	
	補 修 弁 付 単 口 消 火 栓	
	補 修 弁 付 単 口 消 火 栓 (ボ ー ル 弁 式)	
	補 修 弁 付 双 口 消 火 栓	
	補 修 弁 付 単 口 消 火 栓 (う ず 巻 き T 字 管 設 置)	
	補 修 弁 付 双 口 消 火 栓 (う ず 巻 き T 字 管 設 置)	
	応 急 給 水 施 設 用 消 火 栓	
	応 急 給 水 施 設 用 消 火 栓 (補 修 弁 付)	
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 単 口 消 火 栓	
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 補 修 弁 付 単 口 消 火 栓	
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 双 口 消 火 栓	
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 補 修 弁 付 双 口 消 火 栓	
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 応 急 給 水 施 設 用 消 火 栓	
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 応 急 給 水 施 設 用 消 火 栓 (補 修 弁 付)	
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 補 修 弁 付 単 口 消 火 栓 (う ず 巻 き T 字 管 設 置)	
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 製 補 修 弁 付 双 口 消 火 栓 (う ず 巻 き T 字 管 設 置)	

種 別	名 称	記 号
空気弁	単 口 空 気 弁	
	双 口 空 気 弁	
	急 速 空 気 弁	
	水 道 用 空 気 弁 (単 口 2 5)	
	補 修 弁 付 単 口 空 気 弁	
	補 修 弁 付 双 口 空 気 弁	
	補 修 弁 付 急 速 空 気 弁	
	二 重 補 修 弁 付 空 気 弁	
	ダクタイル 鑄鉄製 急 速 空 気 弁	
	ダクタイル 鑄鉄製 補 修 弁 付 急 速 空 気 弁	
	ダクタイル 鑄鉄製 単 口 空 気 弁	
	ダクタイル 鑄鉄製 補 修 弁 付 単 口 空 気 弁	
	ダクタイル 鑄鉄製 双 口 空 気 弁	
	ダクタイル 鑄鉄製 補 修 弁 付 双 口 空 気 弁	

種 別	名 称	記 号
その他	片 落 管	
	管 種 變 更 点 (呼 び 径 50mm 以 下)	
	上 下 交 差 (オ ー バ ー)	
	交 差 (ク ロ ス)	
	排 水 管	
	さ や 管	
	河 川 横 断 越	
	伏	
	添 架	
	水 管 橋	
	耐 震 性 貯 水 槽 (地 下 式)	
	地 下 式 給 水 栓	
	電 気 防 食 設 備	

(4) 管種等表示記号

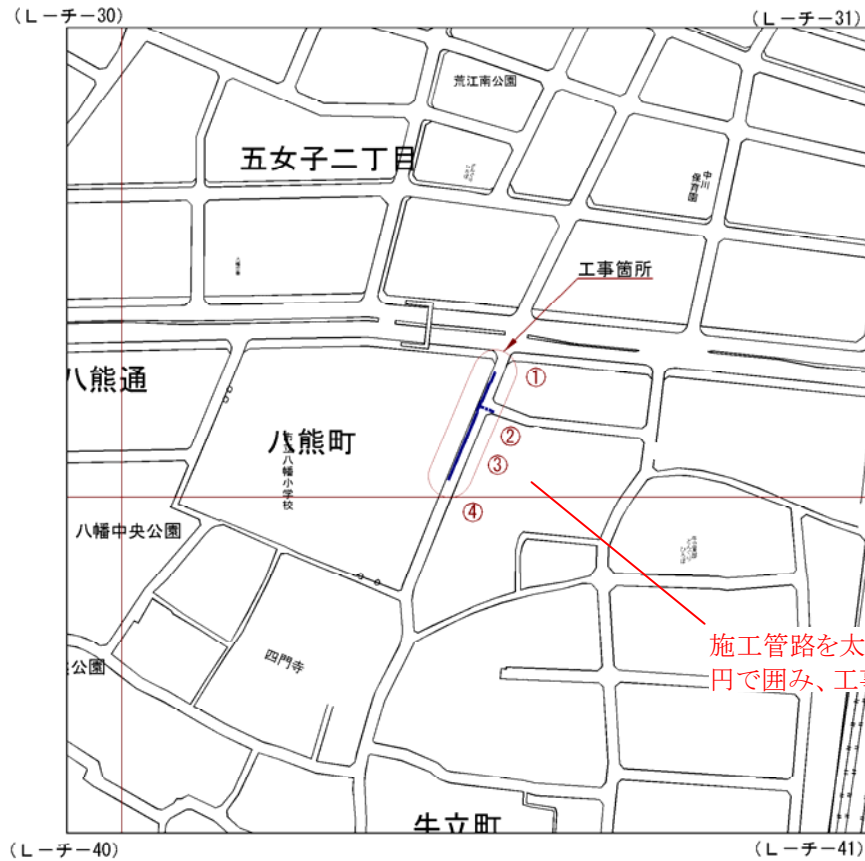
種 別	区 分	名 称	文字記号	摘 要
材 質	管 種	普 通 鑄 鉄 管	FC	昭和8年以降
		高 級 鑄 鉄 管	D	
		ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 管	SU	
		ス テ ン レ ス 鋼 管	SP	
		鋼 管	GP	
		亜 鉛 メ ッ キ 鋼 管	AP	
		石 綿 セ メ ン ト 管	VP	
		硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	PP	
		ポ リ エ チ レ ン 管	LP	
		鉛 銅 管	CP	
継 手	鉄 管	フ ラ ン ジ	F	
		ソ ケ ッ ト	S	
		メ カ ニ カ ル A 形	A	
		" " K 形	K	
		耐 震 系 継 手 K F 形	KF	
		内 面 継 手 U 形	U	
		耐 震 系 継 手 U F 形	UF	
		" " U S 形	US	
		" " S 形、S 形	TS	
		" " N S 形	NS	
		タ イ ト ン T 形	T	
		P I P 工 法 用 P 形、P 形	TP	
		P I P 工 法 用 P N 形	TPN	
		ヴ ィ ク ト リ ッ ク	V	
		石 綿 継 手	C	
ギ ボ ル ト	G			
C A ジ ョ イ ン ト	CA			
塗 覆 装	内 面	エ ポ キ シ	E	
		ラ イ ニ ン グ (モ ル タ ル)	L	
		" (エ ポ キ シ)	EL	
		" (ビ ニ ル)	V	
		ホ ー ス ラ イ ニ ン グ	HL	
	E X ラ イ ニ ン グ	EX		
	外 面	ジ ュ ー ト	J	
ゴ ム		R		
ポ リ エ チ レ ン ス リ ー プ		P		

(5) 他の工作物記号

名 称	記 号	名 称	記 号
電 気 ケ ー ブ ル	E	下 水 人 孔	S
電 話 ケ ー ブ ル	T	電 気 電 柱	E
ガ ス 管	G	電 話 "	T
下 水 道	S	信 号 機 "	信
工 業 用 水 管	I・W	水 準 点	・ B ・ M
警 察 信 号 ケ ー ブ ル	P・S	用 地 杭	杭
電 気 人 孔	E	ポ ス ト	P
電 話 人 孔	T	電 話 ボ ッ ク ス	T B
ガ ス ボ ッ ク ス	G	私 設 消 火 栓	H

Lf	H16	20	005	03	01
記号	年度	科目	設計番号	指示番号	図番

位置図 s=1/2500



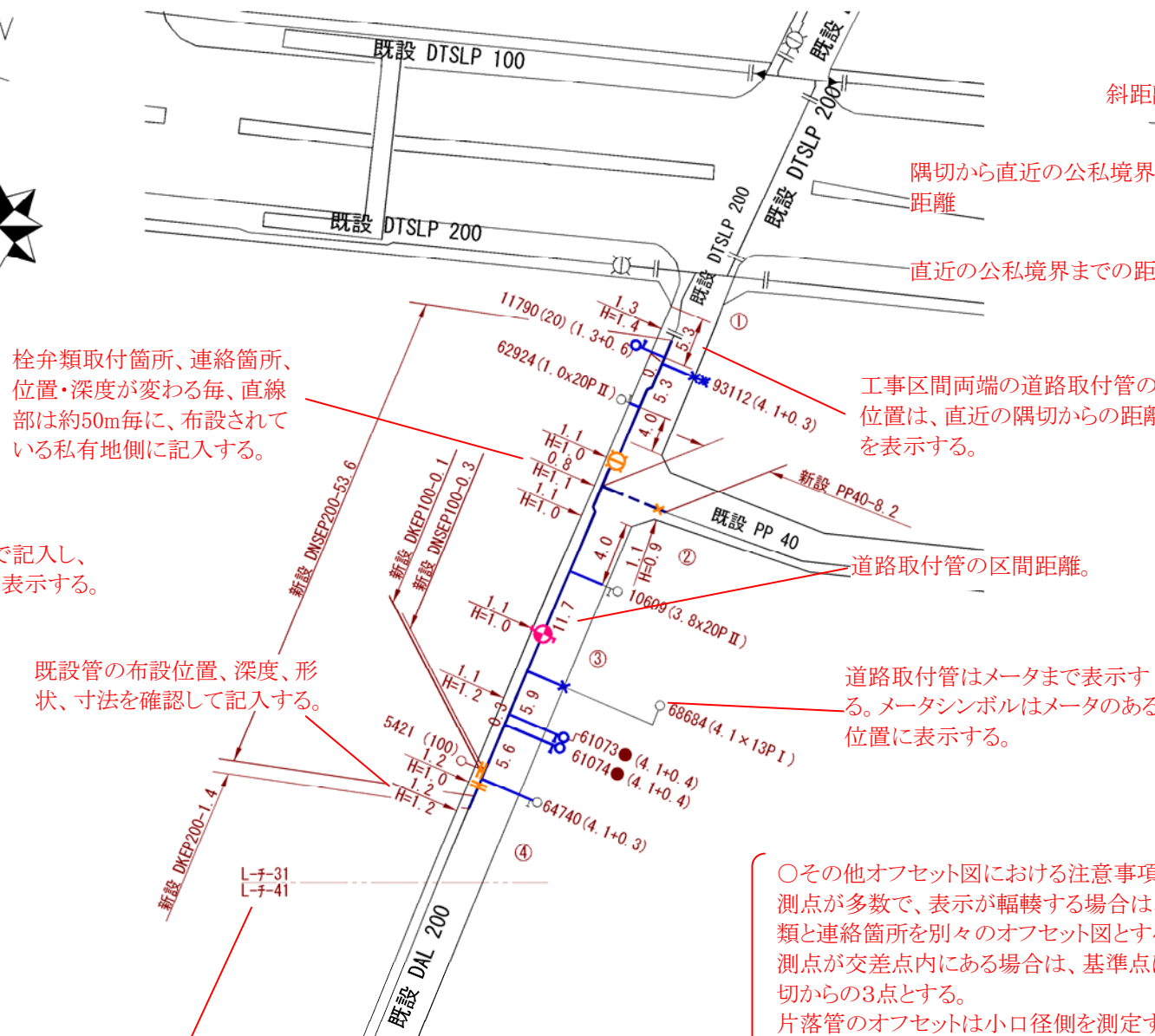
位置図は、縮尺1/2500の地形図を利用し、町丁名及び目標となる建物等の名称を記入する。

施工前に分岐されていた道路取付管を分岐しなかった場合は、平面図が記載されている頁の余白に、該当する道路取付管に付随する全ての水栓番号を記載する。

55289
60423(40)
80227(20)

1/500配水管管理図記号を記入する。配水管管理図1枚を越える場合は、配水管管理図の区画線と角部の図面記号(第二分類まで)を記入する。

平面図 s=1/500



栓弁類取付箇所、連絡箇所、位置・深度が変わる毎、直線部は約50m毎に、布設されている私有地側に記入する。

施工管路を太い実線で記入し、円で囲み、工事箇所と表示する。

既設管の布設位置、深度、形状、寸法を確認して記入する。

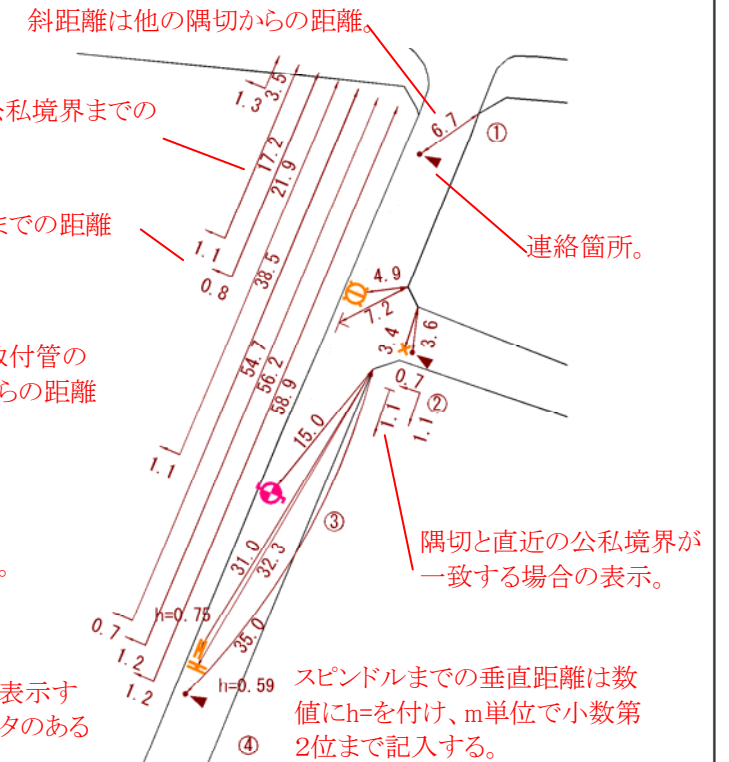
工事区間両端の道路取付管の位置は、直近の隅切からの距離を表示する。

道路取付管の区間距離。

道路取付管はメータまで表示する。メータシンボルはメータのある位置に表示する。

布設管図

1/2500配管図図面記号 (第一分類) オフセット図



○その他オフセット図における注意事項
測点が多数で、表示が輻輳する場合は、栓弁類と連絡箇所を別々のオフセット図とする。
測点が交差点内にある場合は、基準点は隅切からの3点とする。
片落管のオフセットは小口径側を測定する。

平面図が1/500配水管管理図1枚を越える場合は、配水管管理図毎の区画線と図面記号(第二分類まで)を記入する。

★道路取付管布設部で20P IIは省略する。
道路取付管延長は道路延長+屋内延長、
「×」以降は接続部詳細である。

道路取付管を施工する全ての工事に表示する。

逆流防止機能付止水栓を取替える全ての工事に表示する。

★ ● 逆流防止機能付止水栓へ取替

指示書工事の場合は、施工指示書番号を記入する。

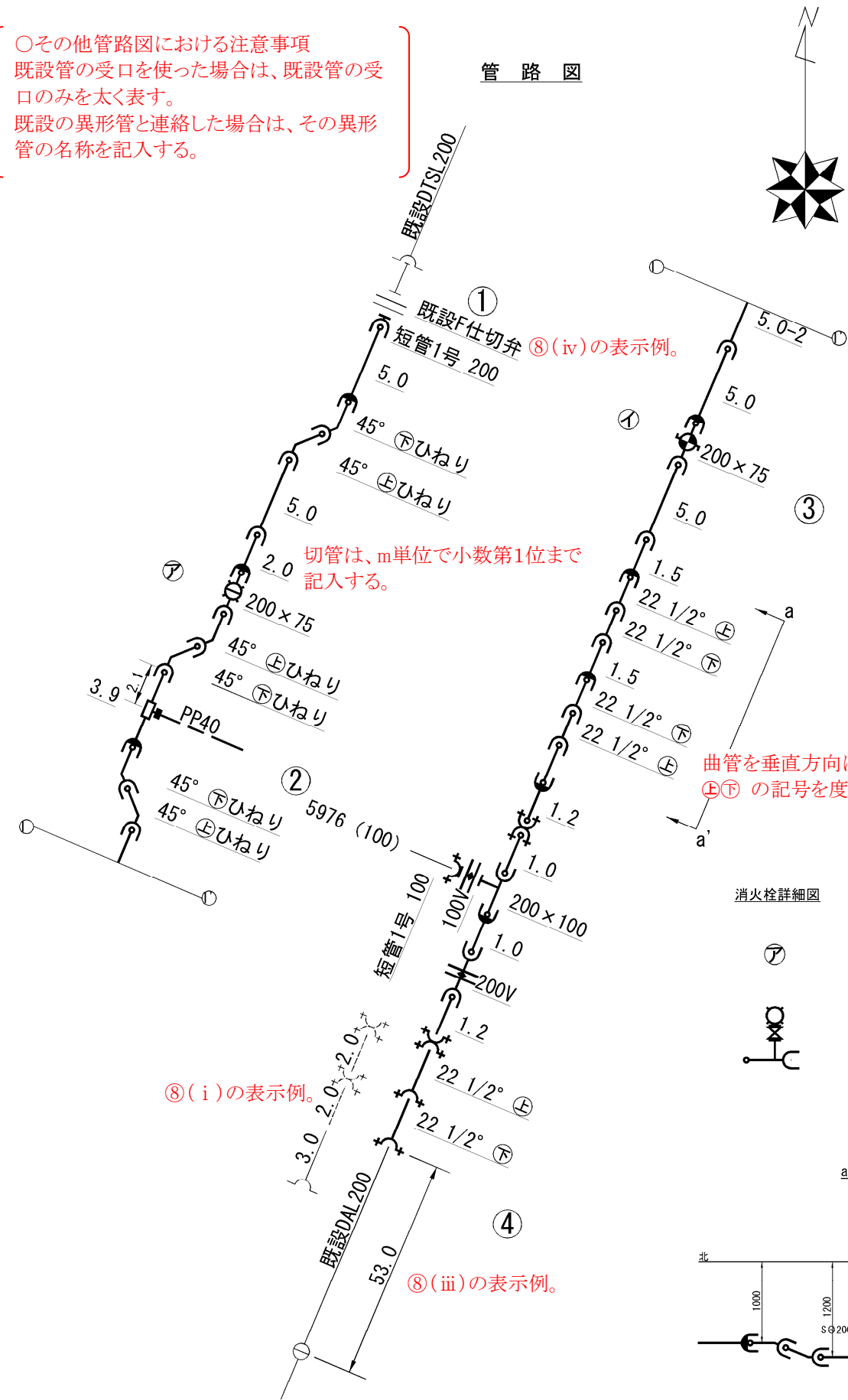
施 工 量				
名 称	形 状	新 設	撤 去	残 置
配水管	200	55.0	49.4	4.8
配水管	100	0.4	3.6	
小口径配水管	40	8.2	8.2	
仮設配水管	40	50.5	50.5	
仕切弁	200	1		
仕切弁	100	1	1	
消火栓	単口	1	1	
地下式給水栓	-	1		

指示書番号	指示第3号
道路占用許可番号	16指令土中川第11-27号
許可年月日	平成16年8月16日
名古屋市上下水道局管路部西配水事務所	
所長	設計番号 16改005 完成 平成17年6月1日
副所長	工 事 名 中川区八熊通5丁目地内 200配水管布設工事
係 長	図 名 位置図 オフセット図 縮 尺 S=1/2500 S=1/500
	図面 記号 L-チ-31 サ イ ズ A2 図 番 1/2
担当者	施工 種別 請負 業 者 ○○建設株式会社

L7	H16	20	005	03	02
記号	年度	科目	設計番号	指示番号	図番

○その他管路図における注意事項
 既設管の受口を使った場合は、既設管の受口のみを太く表す。
 既設の異形管と連絡した場合は、その異形管の名称を記入する。

管路図

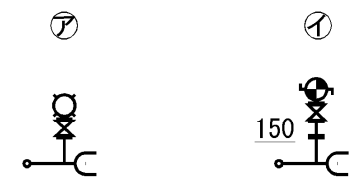


切管は、m単位で小数第1位まで記入する。

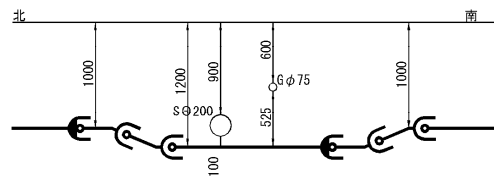
曲管を垂直方向に使用した場合は、㊥㊦の記号を度数に付記する。

消火栓詳細図

地下式給水栓詳細図



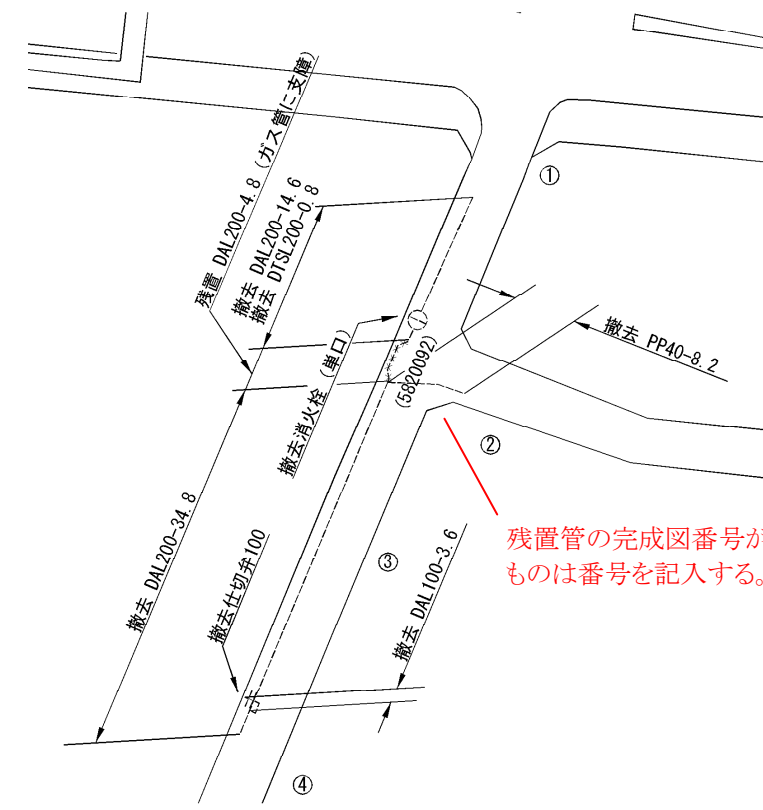
a-a' 断面図



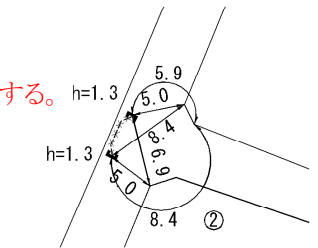
既設管と交差した場合は断面図に、位置と離隔を記入する。

廃止管図

平面図 s=1/500



残置管閉塞箇所オフセット図



基準点は原則として隅切とし、3点からの水平距離を記入する。

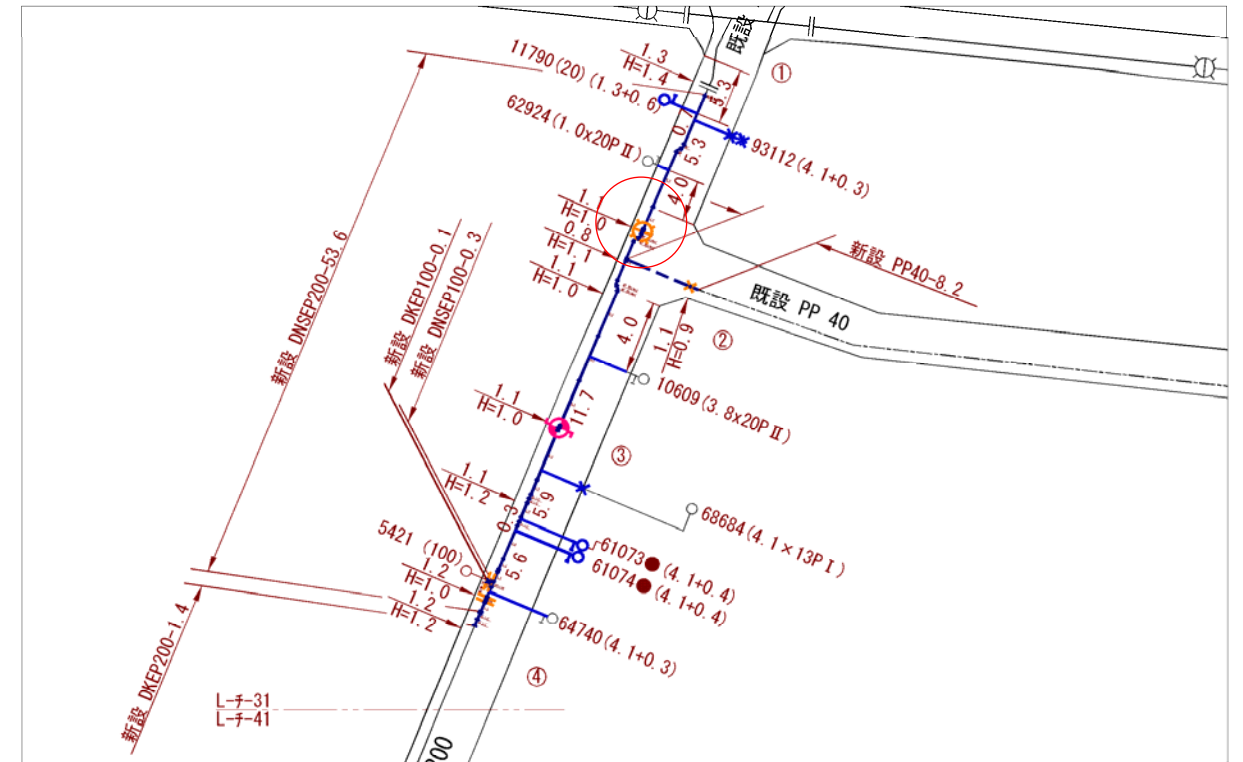
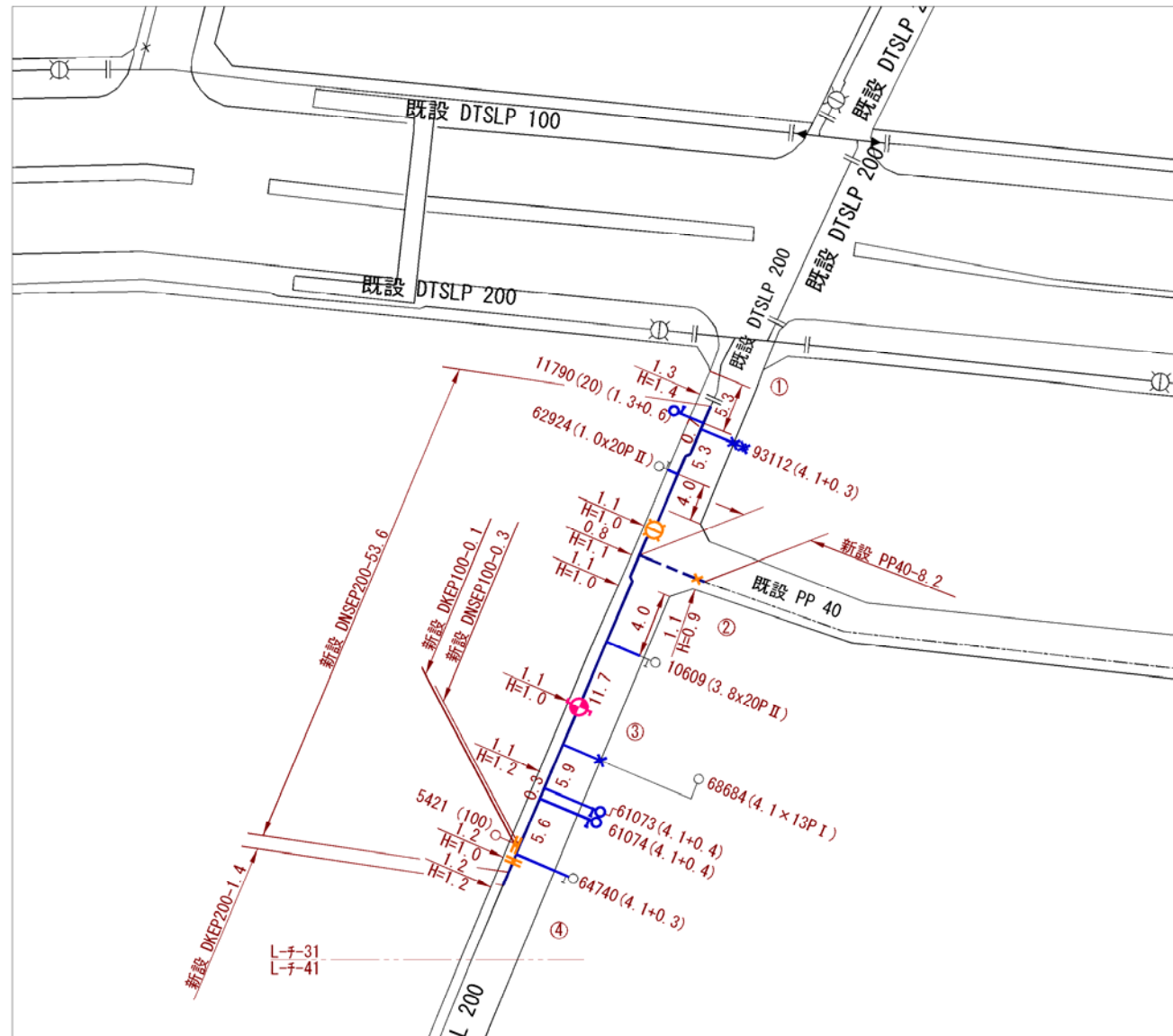
名古屋市上下水道局管路部西配水事務所					
設計番号	16改005	完成	平成17年6月1日		
工 事 名	中川区八熊通5丁目地内 200耗配水管布設工事				
図 名	管路図 平面図	縮 尺	S=1/500		
図 面 記 号	L-チ-31	サ イ ズ	A2	図 番	2/2
施 工 種 別	請負	請負 業者	〇〇建設株式会社		

全レイヤ表示状態

背景図と仮想線を除く全てのレイヤを表示させた状態。実際の配管状況に合致した管路図を作図する。

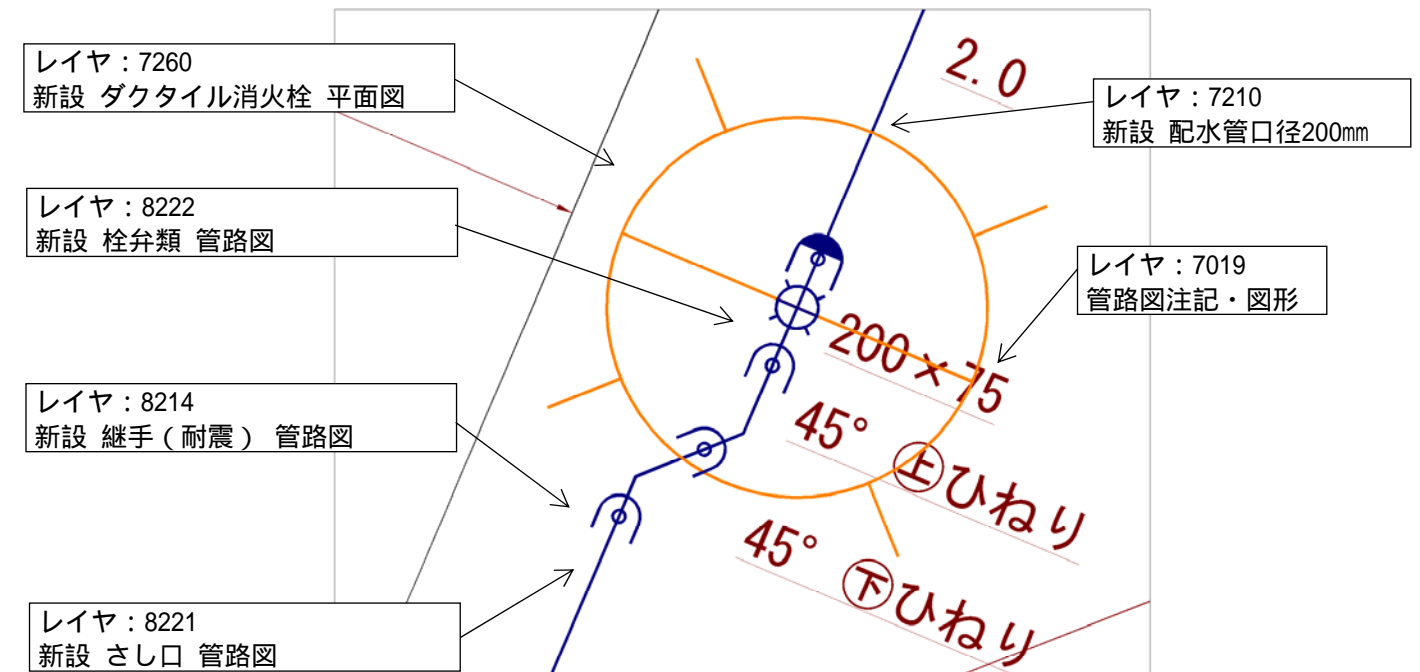
提出時のレイヤ表示状態

布設管図の平面図と同様の図面となるようレイヤ表示を調整する。



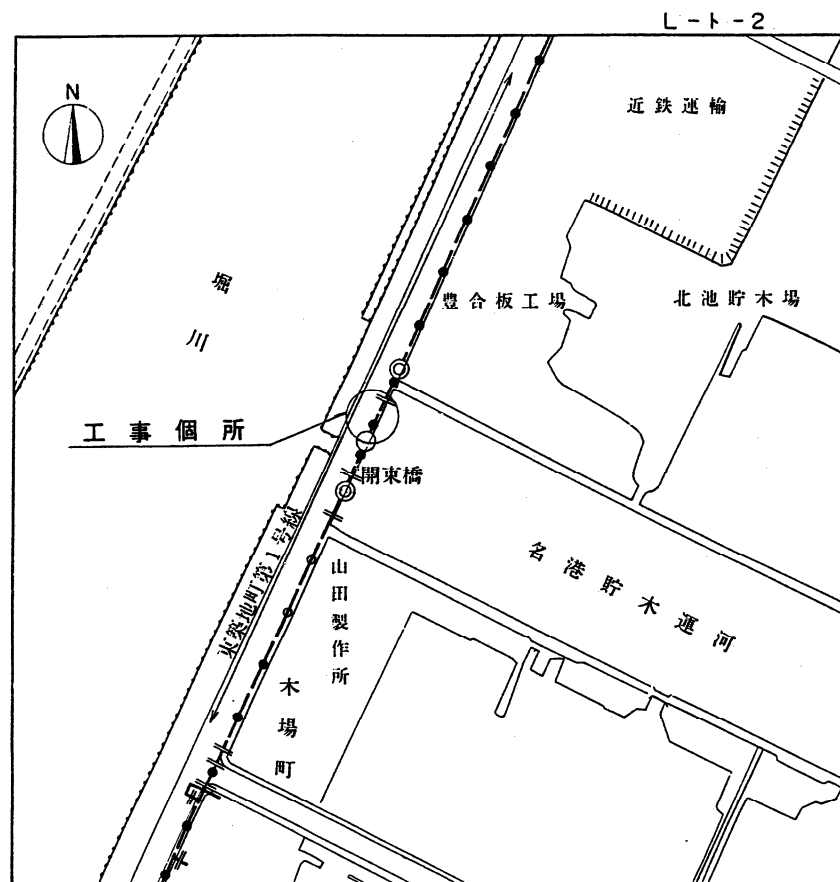
管路図の表示方法 (上記 部詳細)

管類、栓弁類の名称・寸法表示は、平面図の引出線その他の表示と重なり合ってもかまわない。
継手の大きさは、円弧部の直径が0.2mとなるのを標準とする。
栓弁類は、平面図で表示されるものとは別に、継手の大きさと同程度に合わせたものを別途作図する。



開東水管橋位置図

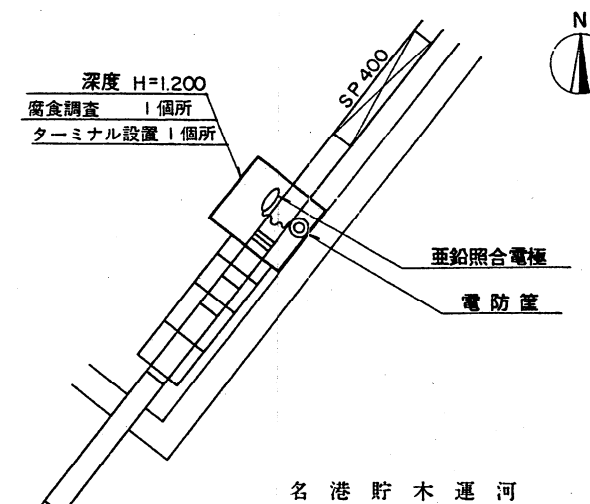
S=1:2,500



防食設備管理図記載例

平面図

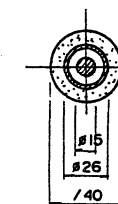
S=1:100



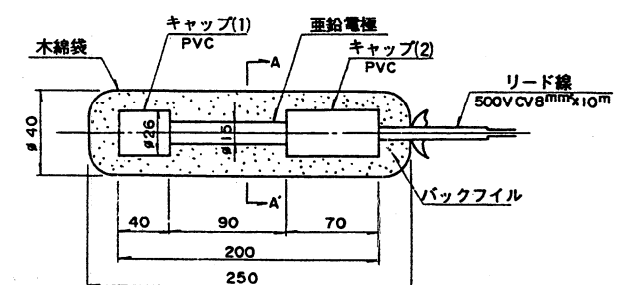
亜鉛照合電極 (Zn-G型) 材料図

S=1:40

A-A' 矢視図

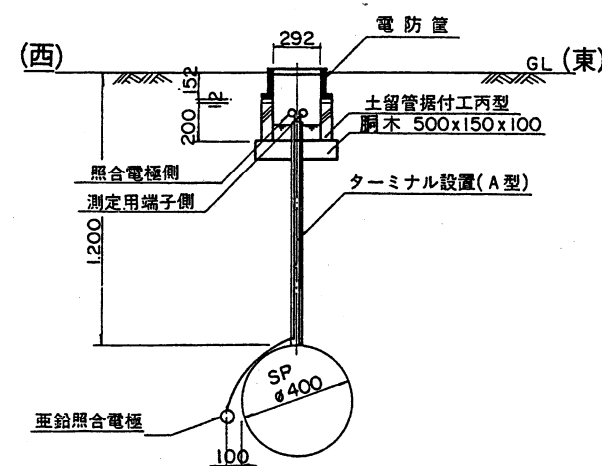


平面図

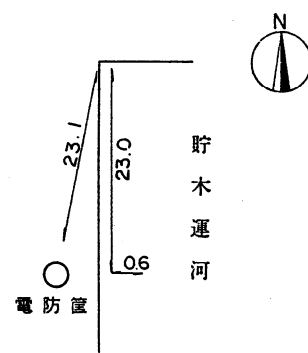


電防筐, ターミナル据付詳細図

S=1:20



電防筐オフセット図(右岸北)



防食設備管理図		
管理番号	No 47	
完成番号	HO100108	
工事名	水管橋耐震調査及び腐食調査	
設置場所	名古屋市港区木場町 開東水管橋(右岸北)	
図面記号	O-ト-24	
完成	平成2年2月15日	
防食設備の種類	初期測定値	
亜鉛照合電極 CV8mm ² X 1本	P/Z ⁿ (mv)	P/S (mv)
	+585	-515
請負者	〇〇〇〇株式会社	測定者
		〇〇〇〇株式会社